

令和7年度厚生労働省保健指導支援事業

市町村統括保健師の実践力強化

実施報告書

令和8(2026)年3月

公益社団法人 日本看護協会

# 目次

はじめに .....	1
I 市町村統括保健師研修プログラムの検討 .....	2
1. 市町村統括保健師の実践力強化に向けた有識者会議 .....	2
2. 市町村統括保健師研修プログラム .....	3
II 市町村統括保健師研修会の実施 .....	14
1. 研修会の概要 .....	14
2. 募集方法・周知 .....	15
3. 演習講師との打合せ .....	15
4. 研修プログラム .....	17
5. 受講者の状況 .....	25
III 研修プログラムの評価 .....	28
1. 自己評価 .....	28
2. 研修会の評価 .....	33
3. まとめ .....	45
今後に向けて .....	47
別添：資料 .....	48

## はじめに

少子高齢化や健康寿命の延伸、地域ケアシステムの構築など、保健活動をめぐる情勢が大きく変化する中で、保健師が果たすべき役割への期待は一層拡大している。更に、新型コロナウイルス感染症への対応を契機に、災害のみならず新興感染症等を含む健康危機においても専門職としての役割発揮が求められている。また、自治体においては業務が専門分化され、保健師の分散配置も進んでいる。

2040年に向けて、特に市町村では、地域を基盤とする保健指導や保健活動の効果的・効率的で持続可能な活動展開や部署を超えた連携・協働、事業化・施策化、人材育成をはじめとする組織全体のマネジメント等を担う統括保健師の役割・機能が重要となっており、その育成は喫緊の課題となっている。

また、令和5年3月の「地域保健法に基づく地域保健指針」の改正において、市町村における健康危機管理体制等の充実を図るため、統括保健師の配置が明文化され、「地域における保健師の保健活動について」（平成25年4月19日付け健発0419第1号厚生労働省健康局長通知。以下「保健活動通知」という。）別紙「地域における保健師の保健活動に関する指針」においてもその役割が明記される等の改正が今後、見込まれている。令和6・7年度開催の厚生労働省「2040年を見据えた保健師活動のあり方に関する検討会」のとりまとめにおいても、今後の社会背景及び自治体の状況を踏まえ、保健師の確保・育成、効果的・効率的で持続可能な保健活動等と併せて、統括保健師が保健師の保健活動をマネジメントする必要性とその課題が示されたところである。

統括保健師の育成は、都道府県及び保健所設置市の統括保健師を対象とした研修が国立保健医療科学院において行われている一方、市町村の統括保健師を対象とした研修の機会は保障されておらず、その実践力を高める研修の機会は十分ではない状況にある。

このような背景を踏まえ、本会では2040年を見据えて活動を推進することが望まれる市町村統括保健師の実践力の強化及び資質の向上と、市町村統括保健師間のネットワークの構築に向けて、研修プログラムを検討し、研修会を開催したため報告する。

なお、本研修プログラムは、平成27年度の「統括保健師人材育成プログラム」を基に、その後の保健師を取り巻く状況の変化等を踏まえ、有識者の助言を得て再考したものであり、研修会の実施に当たっては、厚生労働省、有識者、自治体等の関係者の協力を得て実施した。

# I 市町村統括保健師研修プログラムの検討

保健師には、新たな健康課題への対応や複雑化・多様化する地域住民の健康ニーズに対応し、各部門が担う保健活動を分野横断的かつ総合的視点で捉え、効果的・効率的な事業の実施や施策の構築のための調整力やより高度な実践力が求められている。

このような中、平成 25 年の厚生労働省健康局長通知「地域における保健師の保健活動について（以下「保健師活動指針」）」では、組織横断的な総合調整や技術的・専門的側面から指導する役割を担う保健師（いわゆる「統括的な役割を担う保健師」）の配置の必要性が明記された。

また、令和 5 年改正「地域保健対策の推進に関する基本的な指針（以下「地域指針」）」の改正では、「保健所に保健所長を補佐する統括保健師等の総合的なマネジメントを担う保健師を配置すること」及び、「市町村は健康危機管理を含めた地域保健施策の推進のために統括保健師を配置すること」とされ、市町村においても統括保健師の配置が明記された。

更に、令和 6・7 年度の厚生労働省の「2040 年を見据えた保健師活動のあり方に関する検討会」においても、統括保健師によるマネジメントの重要性が検討され、市町村の統括保健師の配置・育成に向けた更なる強化が求められている。

本研修プログラムの検討にあたっては、「平成 27 年度厚生労働省先駆的保健活動交流推進事業報告書 統括保健師人材育成プログラムの開発」（以下「平成 27 年度プログラム」）を参考とし、その後の地域保健及び保健師活動における動向等を踏まえ、以下の有識者会議にてプログラムを再考した。

## 1. 市町村統括保健師の実践力強化に向けた有識者会議

2040 年を見据えた保健師活動のあり方の検討状況や「平成 27 年度プログラム」を踏まえ、地域を基盤とする保健指導の充実に向け、市町村統括保健師の実践力の強化に必要な学習内容及び、研修プログラムを検討するため、市町村統括保健師の実践力強化に向けた有識者会議（以下「有識者会議」）を設置した。

### 1) 構成員

氏名	所属／職名
五十嵐 久美子	国立保健医療科学院／統括研究官
岡本 浩二	川口市保健部／理事、川口市保健所／所長
小野 聡枝	神奈川県平塚保健福祉事務所秦野センター／所長
菅野 匡彦	八王子市福祉部／部長
菅原 奈保子	北上市健康こども部こども家庭センター／所長
鳩野 洋子	熊本保健科学大学／特任教授

（五十音順）

## 2) 開催状況

回数	開催日	議題等	備考
第1回	2025年 9月9日(火)	1. 本事業の概要説明 2. 市町村統括保健師研修プログラムについて 3. 市町村統括保健師研修会の参加者募集等について	
第2回	2025年 11月21日(金)	1. 市町村統括保健師研修プログラムについて 2. 参加申込状況について 3. 演習・ワールドカフェについて 4. プログラム評価について 5. 市町村統括保健師研修に関する今後の方向性について 6. その他	
第3回	2026年 1月25日(日)	1. 市町村統括保健師研修の今後に向けての評価・改善点について 2. 今後の予定	「市町村統括保健師研修会」評価会議と併せて開催(演習講師参加)

## 2. 市町村統括保健師研修プログラム

統括保健師の定義、役割・機能、プログラム目的、内容等の検討の結果を次のとおり示す。有識者会議での検討内容等の詳細は□枠内に示す。

### 1) 本プログラムにおける統括保健師の定義

統括保健師とは、保健活動を推進するための組織横断的な総合調整、人材育成、技術的及び専門的側面からの指導・調整・支援を行い、地域全体の健康水準の向上を牽引する保健師である。

#### 【検討内容及び関連動向】

- 平成25年厚生労働省健康局長通知「地域における保健師の保健活動について」において、都道府県、保健所設置市、特別区及び市町村の本庁には、「保健師の保健活動の総合調整等を担う部署に配置された保健師は、住民の健康の保持増進を図るための様々な活動等を効果的に推進するため、保健師の保健活動を組織横断的に総合調整及び推進し、人材育成や技術面での指導及び調整を行うなど統括的な役割を担うこと」と明記されている。
- 令和5年厚生労働省告示「地域保健対策の推進に関する基本的な指針」において、「市町村は健康危機管理を含めた地域保健施策の推進のために統括保健師を配置すること。また、健康危機への対応を含む地域保健対策の推進においては、統括保健師等が連携して組織横断的なマネジメント体制の充実を図ること。」とされ、市町村においても統括保健師の配置が明記されていることから、これらを踏まえ再検討する。

## 2) 本プログラムにおける統括保健師の役割・機能・能力

### 〈役割・機能〉

- ・保健活動を推進するための組織横断的な総合調整、技術的及び専門的側面からの指導・助言
- ・人材育成に関する組織上の課題を踏まえた、保健師の計画的な人材育成やキャリア形成の推進
- ・健康危機管理に備えた体制整備に向けた保健活動の調整

### 〈能力〉

- ・組織横断的な調整や交渉を行い、保健活動を総合的に推進する能力
- ・行政の意思決定プロセスを踏まえ、所属自治体の保健活動の戦略を立て推進する能力
- ・所属自治体の組織目標・計画に基づき、保健師の採用計画・配置等を含めた人材育成体制を整備・推進する能力

### 【検討内容】

- ・統括保健師の再定義を踏まえ、「平成 27 年度プログラム」の「役割・機能」「能力」、及び自治体保健師の標準的なキャリアラダー<sup>2)</sup>、管理職保健師に向けた能力にかかるキャリアラダー<sup>5)</sup>、統括保健師に求められる力<sup>4)</sup>を参考に再検討することが必要である。

## 3) 本プログラムの目的・目標

目 的	<b>G10（一般目標）</b> 市町村の統括保健師として、所属自治体の健康水準の向上に向けて、専門的側面から組織横断的に調整・支援を行い、効果的・効率的な保健活動を推進するための能力を養う。
到達目標	<b>SBO（到達目標）</b> 1. 地域保健を取り巻く社会情勢や施策の動向を理解し、統括保健師としての役割・機能が説明できる。 2. 所属自治体における健康課題の組織的な解決に向け、統括保健師として取り組むべき方策を具体的に説明できる。 3. 保健活動の向上のため、統括保健師のネットワークづくりの意義を説明できる。

## 4) 対象者

以下の（１）、（２）にすべて該当する者

- （１）市区町村の統括保健師、又は統括的立場にある保健師
- （２）事前課題・事後課題を含む本研修のすべてのプログラムを受講できる者

#### 【検討内容】

- ・ 受講者のターゲットとして、どのような人を対象とすべきか。
- ・ 自治体としては「次期統括保健師」に研修を受けさせたいという意向が強いのではないか。



- 統括保健師としての役割を明確にし、自治体内での体制整備につなげることが研修の本質的な目的であり、受講者の属性（現職・次期統括）によって研修への向き合い方がかなり異なる。
- 自組織に何を残すかという視点を持つ現職の統括保健師の参加が特に効果的であり、自組織の体制を次に向けて考える会にできればよい。
- 統括保健師は、必ずしも訓練（統括保健師になるためのトレーニング）を経て任命されるわけではなく、組織の中での職位や年齢などで任される場合も多い。コロナ対応や保健師中央会議、研修を通じて役割認識が深まったという経験がある。市町村レベルでは（保健所設置市以外の職員が）保健師中央会議に参加できないため、この研修がその代替え機能を果たせるような場にする。
- 全国の市町村の統括保健師が交流できる貴重な機会であり、ネットワークづくりの機会とする。
- 「次期統括保健師」については、新しいプログラム開発が必要である。

#### 5) 本プログラムの構成

有識者会議で検討・作成したプログラムを以下に示す。

受講者の負担軽減のため、2日間の集合研修とし、演習により受講者自らが実践に結び付く内容とした。また、事前・事後課題により、自己学習と集合研修の相乗効果が得られるものとしている。なお、統括保健師の役割・機能のひとつである健康危機管理については、時間的制限から集合研修での演習の個人テーマに留める内容となっている。

#### 【検討内容】

##### ■ 研修内容

- ・ 健康危機管理は、地域指針にも盛り込まれ、統括保健師の役割・機能として健康危機管理が含まれていることから、有事対応を見据えた平時の取り組みを理解できるセッションを研修に組み込むことが望ましいのではないか。



- 集合研修時間には制限もあるため、講義や演習の中で健康危機管理における平時からの取組が含まれるよう配慮する。

(1) 事前課題

SBO	テーマ	ねらい	学習方法・内容等
1. 地域保健を取り巻く社会情勢や施策の動向を理解し、統括保健師としての役割・機能が説明できる。	統括保健師の役割・機能	統括保健師の役割・機能を発揮するうえで必須となる知識を習得する。	<p>○文献学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域保健対策の推進に関する基本的な指針</li> <li>・地域における保健師の保健活動について</li> <li>・保健師活動指針活用ガイド（日本看護協会）</li> <li>・令和5年度地域保健対策・保健師活動ワーキンググループ報告書</li> <li>・日本公衆衛生協会：「地方公共団体における効率的・効果的な保健活動の展開および計画的な保健師の育成・確保について」（分担事業者：曾根 智史）総合報告. 2019</li> <li>・日本看護協会出版会：看護管理学習テキスト第3版 第4巻「組織管理論」P30～32, P71～99</li> </ul>
2. 所属自治体における健康課題の組織的な解決に向け、統括保健師として取り組むべき方策を具体的に説明できる。	所属自治体の組織構造の現状と統括保健師の所掌業務	所属自治体の組織構造を可視化し、保健師の配置状況や統括保健師の所掌範囲、意思決定等の現状を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「基本情報シート」／「組織見える化シート【様式1】」の作成</li> <li>・組織構造、所掌範囲</li> <li>・保健師の配置状況、施策の意思決定ルート等の現状等</li> <li>・所属自治体の統括保健師の配置（位置づけ）</li> </ul>

(2) 集合研修

【1日目】

SBO	テーマ	ねらい	学習方法・講師	時間
1. 地域保健を取り巻く社会情勢や施策の動向を理解し、統括保健師としての役割・機能が説明できる。	1) 2040年を見据えた地域保健施策の動向と保健師活動	統括保健師として保健師関連の国の動向を理解する。	【講義】 <u>国・自治体関係者</u>	40分
	2) 2040年に向けたこれからの保健活動を牽引する市町村統括保健師の役割・機能と期待	これからの市町村の保健活動を推進するうえでの統括保健師の役割・機能を理解する。	【講義】 <u>統括保健師業務に精通する有識者</u>	40分
	3) 自治体の組織運営と統括保健師に求められる調整力	行政の組織運営において、統括保健師に求められる調整力について理解を深める。	【講義】 <u>保健衛生部門の所轄経験がある管理的行政職（事務職）</u>	40分
2. 所属自治体における健康課題の組織的な解決に向け、統括保健師として取り組むべき方策を具体的に説明できる。	1) 統括保健師としての現状と課題	行政組織や保健活動の現状を踏まえ、健康課題を組織的に解決するための統括保健師の役割・機能を理解するため、現状の活動を振り返る。	【演習Ⅰ】 (グループワーク) ・自己紹介 ・自治体の組織体制 ・【様式1】組織見える化シート ・現状と課題の分析(SWOT分析) ・ <u>統括保健師業務に精通する保健師</u> (メイン講師・演習講師)	110分
	1日目のまとめ 2日目に向けたオリエンテーション		演習 メイン講師	30分
3. 保健活動の向上のため、統括保健師のネットワークづくりの意義を説明できる。	2040年を見据え、統括保健師としての取組のヒントを得よう	統括保健師の活動状況、課題への対応方法等の情報を共有する。  今後の統括保健師としての活動推進に向けて、参加者のネットワークを構築する。	【ワールドカフェ】 (テーマ) ・2040年における保健師活動のイメージ化 ・そのために必要な条件はなにか ・統括保健師としてどのように取り組むか  <u>講義講師、演習講師</u>	120分

【2日目】

SBO	テーマ	ねらい	学習方法・講師	時間
2. 所属自治体における健康課題の組織的な解決に向け、統括保健師として取り組むべき方策を具体的に説明できる。			自己学習：【様式2】 統括保健師 課題焦点化シートの作成	30分
	2) 自治体の政策形成を担う保健師の役割	統括保健師に求められる政策形成能力と方策について理解する。	【講義】 <u>行政組織・自治体政策の有識者</u>	45分
	3) 統括保健師による人材育成・人事管理	市町村における人材育成・確保のあり方、人材の配置、現任教育における統括保健師の役割について理解を深める。	【講義】 <u>統括保健師業務に精通する有識者</u>	20分
	4) 統括保健師による組織横断的な取組・調整の実際	統括保健師の組織横断的な取組や調整方法等のイメージを深める。	【実践報告】 <u>統括保健師業務の実践者</u>	20分
	5) 統括保健師としての取り組むべき課題の明確化	統括保健師として取り組まなければならないことを焦点化(言語化)する。	【演習Ⅱ】(グループワーク) ・現状の確認 ・取り組むべき課題 【様式2】統括保健師 課題焦点化シート <u>統括保健師業務に精通する保健師</u>	60分
	6) 統括保健師としての実践に向けた方策	統括保健師としての目指すべきゴールを設定し、役割・機能を発揮するための行動計画を立案する。	【演習Ⅲ】 ・目的・進め方の説明 ・統括保健師としての自組織での活動計画の作成 【様式3】統括保健師行動計画シート <u>統括保健師業務に精通する保健師</u>	10分
			自己学習：【様式3】 統括保健師行動計画シート作成	45分

2. 所属自治体における健康課題の組織的な解決に向け、統括保健師として取り組むべき方策を具体的に説明できる。	6) 統括保健師としての実践に向けた方策	統括保健師としての目指すべきゴールを設定し、役割・機能を発揮するための行動計画を立案する。	【演習Ⅲ】 (グループワーク) ・ 統括保健師としての自組織での活動計画の作成 【様式3】統括保健師行動計画シート	140分
			演習講師 【フィードバック】 演習講師から助言・意見交換	
研修のまとめ	研修総括	研修での気づきや学びを共有し、統合する。	【全体会】 演習講師のコメント	20分
	事後課題の説明		事後課題 ・ 【様式3】統括保健師行動計画シートへの追記・実践 ・ 自己評価シート②(研修後)の記入	
事務連絡			事務局 ・ プログラム評価シートの記入説明	10分

### 【検討内容】

#### ■ 演習

##### 〈グループ分け〉

- ・ 自治体の規模や地域特性により、統括保健師に求められる役割は異なると思われるため、グループ分けにおいて、工夫や配慮が必要になると思う。



- 受講申込項目にて、応募動機や受講者自身の職務等の情報を収集し、グループ分けの検討資料とする。
- 演習のグループメンバーは固定とし、1グループ3～4名。ワールドカフェのグループについては人数を増やし、演習とは異なるグループとする。
- グループ分けは、人口規模別、「統括保健師の役割・機能のうち演習で取り組みたいもの」のテーマで設定する。

##### 〈演習の進め方〉

- ・ 共通のテーマ(課題)でグループとして成果物を作成するのか、個人課題に対して意見交換やコメントする方法で進めるのがよいかの検討が必要である。
- ・ 課題が個別化することで集約が難しくなることの懸念もあり、工夫が必要だと思う。
- ・ 演習Ⅱ「統括保健師として取り組むべき課題の明確化」で既存の「【様式2】統括保健師課題焦点化シート」を使用することになっているが、統括保健師のすべての役割・機能を網羅し記載するのは困難と思われる。

- ・受講者には、事前に【様式2】で焦点化する課題（テーマ）を選定しておくことで、当日の演習のイメージがつきスムーズに進行することができるのではないか。課題（テーマ）の選定を募集要項等にも記載する必要がある。



- 演習は、個人課題に対してグループディスカッションによる意見交換やファシリテーターからコメントする方法を進める。
- 演習Ⅱの【様式2】統括保健師 課題焦点化シートについては、本研修プログラムにおける統括保健師の機能・役割の3項目に関して記載できるように枠組みを修正し、この3項目から受講者が1項目を選び取り組むこととする。なお、この修正により、「健康危機管理に備えた体制整備に向けた保健活動の調整」が検討テーマとして含めることができるため、健康危機管理について取り組みたい受講者のニーズへの対応も可能となる。
- 受講者には、【様式2】で焦点化する課題（テーマ）を受講申込時に選択できるような募集要項とする。

#### 〈演習における SWOT 分析の活用〉

- ・演習Ⅰで SWOT 分析を行う。演習Ⅰで進め方の説明時間はあるが、SWOT 分析の説明はどこまで説明すべきか。
- ・SWOT 分析シートを使用する予定であるが、気づき等を記載するための枠を設けた方がよいのか。
- ・自治体によって、様々な状況ややり方が出てくる中で、自然と解決策の気づきが出てくるのではと思う。その気づきや強みを出し合うことが質を高められることにつながるのではないか。



- 演習Ⅰ「統括保健師としての現状と課題」での SWOT 分析の説明では、「強み」「弱み」「脅威」「機会」を出し合うだけでなく、ST 戦略や SO 戦略を含めることで、その後の演習が進めやすくなる。
- SWOT 分析シートの枠にはまらない気づきを書けるスペースを設ける。

#### 【検討内容】

##### ■ ワールドカフェ

- ・幅広いテーマを共有する場とするのか、共通のテーマごとに絞って深掘りする構成とするのかについても検討が必要ではないか。
- ・2040 年を見据えた保健活動のあり方を踏まえて、統括保健師としての取組を考えていくテーマとする必要があるのではないか。



- 受講者の多様なニーズに対応できるようにする。
- 2040 年を見据え、必要な保健師活動のあり方を出し合えるテーマ設定とする。

### (3) 事後課題

時 期	内容・方法等
研修後～2月末	・【様式3】統括保健師としての自組織での活動計画の完成
3月～	・【様式3】統括保健師としての自組織での活動計画に基づき、自組織にて実践 ・【様式3】に取組内容を記載
翌年6月末	・【様式3】統括保健師行動計画シート、自己評価シート②（研修後）を本会へ提出 ※事後課題については以下を推奨 ・自組織の上長に提出し、評価・フィードバックを得る。 ・管轄保健所の市町村担当の保健師又は都道府県庁の統括保健師のいずれかに研修成果を情報共有する。

#### 【検討内容】

- ・受講者が自組織に戻ったあとに、同県内の保健師の連絡会等、統括保健師が集まる場を活用して、研修で学んだ内容を報告する等、他の自治体へも状況共有できる機会を設けられるとよいのではないかと。



- 受講後の事後課題である「【様式3】統括保健師 行動計画シート」「自己評価シート②研修後」については、以下を推奨することとした。
  - ✓ 自組織の上長に提出し、評価・フィードバックを得る。
  - ✓ 管轄保健所の市町村担当の保健師又は都道府県庁の統括保健師のいずれかに研修成果を情報共有する。

### 6) 本プログラムの評価方法

評価では、自己評価（2種）、研修会プログラム評価の2つで構成している。

自己評価は、研修目標、統括保健師として担うべき役割について、「平成27年度プログラム」を基に作成した。

#### 【検討内容】

- ・プログラム評価シートに、参加できた理由を問う質問を入れてはどうか。どのような環境を整えれば参加できるのかがわかると次の計画に役立つのではないかと。
- ・自治体によっては、宿泊費は公費として認められないが、旅費は公費として認められるため、宿泊を必須としなければ受講者が増えるのではないかと。
- ・土日開催であるが、平日の開催は検討していないのか。自費の場合は、土日の方が参加しやすいが、公費となると平日開催の方が参加しやすいと思われる。
- ・小規模自治体の場合は、平日に2日間研修に参加するのは難しいのではないかと。



- プログラム評価シートに、今後の研修会開催に向けて参考となる設問を含める。

(1) 自己評価（事前学習前・研修受講後）

■ 自己評価の構成

評価種別	実施時期	評価シート※	評価者	評価内容・方法※
研修前評価	事前課題 取り組み前	自己評価シート① 事前学習前	受講者	<p>〈評価内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本研修の目標に基づく下位目標項目（本研修で達成すること）：9項目</li> <li>・ 統括保健師の役割・機能に基づく下位目標項目（本研修を経て達成すること）：9項目</li> <li>・ 下位目標に基づく統括保健師として担うべき役割項目：13項目</li> </ul> <p>〈方法〉6段階評価</p>
研修後評価	研修受講後 （直後）	自己評価シート② 研修後	受講者	<p>〈評価内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本研修の目標に基づく下位目標項目（本研修で達成すること）：9項目</li> </ul> <p>〈方法〉6段階評価</p>
	研修受講後 （6か月後）	自己評価シート② 研修後	受講者	<p>〈評価内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 統括保健師の役割・機能に基づく下位目標項目（本研修を経て達成すること）：8項目</li> <li>・ 下位目標に基づく統括保健師として担うべき役割項目：13項目</li> </ul> <p>〈方法〉6段階評価</p>

※「自己評価シート①・②」は別添：資料に掲載

## (2) 研修プログラム評価

評価種別	実施時期	評価シート※	評価者	評価内容※
企画・実施 の評価	研修直後	市町村統括保健師 研修プログラム 評価シート	受講者	〈評価内容〉 I. プログラムの企画・結果評価 (全体・事前学習・プログラム・ 受講者同士の意見交換)：10項目 II. プログラム内容の妥当性・満足度 (講義・演習)：10項目 III. プログラムへの参加 (受講理由・経費・意見等)：6 項目

※「市町村統括保健師研修プログラム評価シート」は別添：資料に掲載

プログラムの検討に際し、以下の資料を参考とした。

(参考資料)

- 1) 日本看護協会：平成 27・28 年度厚生労働省先駆的保健活動交流推進事業報告書
- 2) 「保健師に係る研修のあり方等に関する検討会 最終とりまとめ  
～自治体保健師の人材育成体制構築の推進に向けて～」平成 28 年 3 月 31 日 (座長：村嶋幸代)
- 3) 「地方公共団体における効率的・効果的な保健活動の展開および計画的な保健師の育成・確保について」(分担事業者：曾根 智史) 総合報告. 2019
- 4) 春山早苗：「統括保健師に求められる力とそれを伸ばすために」統括保健師の活動展開に関する留意点をふまえて. 保健師ジャーナル, Vol.76, No.11, 2020
- 5) 「市町村統括保健師の能力育成研修手引き」令和元年～令和 3 年度厚生労働科学研究費補助金保健師活動の展開推進および統括保健師の役割遂行能力開発 研究班 (代表：井伊久美子)
- 6) 国立保健医療科学院：「公衆衛生看護研修 (統括保健師)」  
<https://www.niph.go.jp/entrance/r6/course/short/s04.html> (2025. 8)

## Ⅱ 市町村統括保健師研修会の実施

### 1. 研修会の概要

#### 1) 研修会名

市町村統括保健師研修会

～市町村の統括保健師大集合！活き活きと保健活動を続けるために～

#### 2) 目 標

〈一般目標〉

市町村の統括保健師として、所属自治体の健康水準の向上に向けて、専門的側面から組織横断的に調整・支援を行い、効果的・効率的な保健活動を推進するための能力を養う。

〈到達目標〉

- (1) 2040 年を見据えた保健活動を推進するために、地域保健を取り巻く社会情勢や施策の動向を理解し、統括保健師としての役割・機能が説明できる。
- (2) 所属自治体における健康課題の組織的な解決に向け、統括保健師として取り組むべき方策を具体的に説明できる。
- (3) 保健活動の向上のため、統括保健師のネットワークづくりの意義を説明できる。

#### 3) 日 程

2026 年 1 月 24 日（土）～1 月 25 日（日）（1 泊 2 日）※宿泊研修

〔1 日目：13：00～20：00 2 日目：9：00～15：30〕

#### 4) 会 場・宿泊ホテル

「TKP ガーデンシティ浜松町」（バイサイドホテル アジュール竹芝）

#### 5) 受講資格（対象者）

以下の（1）、（2）にすべて該当する者

- (1) 市区町村の統括保健師、又は統括的立場にある保健師
- (2) 事前課題・事後課題を含む本研修のすべてのプログラムを受講できる者

#### 6) 定員

100 名

#### 7) 受講申込期間

2025 年 10 月 16 日（木）～11 月 14 日（金）

## 2. 募集方法・周知

### 1) 募集要項（別添：資料参照）

### 2) 受講申込方法

受講申込	・受講専用フォーム（URLもしくはQRコード）による申込み
受講決定	・受講資格の確認を行い、受講の可否を決定し「受講決定通知」メールを送付
事前課題提出	・以下の事前課題をメールにて提出 「自己評価シート①事前学習前」/基本情報シート / 【様式1】組織見える化シート

### 3) 周知方法

- ・本会公式ホームページ・SNS
- ・協会ニュース・法人会員ネットへの案内掲載
- ・保健師職能メーリングリスト、案内メールの送付
- ・関連団体へ案内メールの送付（全国保健師長会、全国保健所長会等）
- ・国民健康保険団体連合会へ公文書送付
- ・保健指導室だよりへの掲載
- ・都道府県宛と市町村宛の公文書をメール送付（厚生労働省よりメール送信）

## 3. 演習講師との打合せ

演習のねらい・進め方等についての事前説明、内容の調整等を目的に演習講師の打合せを行った。なお、実施後の評価については「Ⅲ 研修プログラムの評価\_2. 研修会の評価」に記載している。

### 1) 実施日・内容

開催日・方法	内容	資料等
2026年 1月13日（火） 1月14日（水） Web開催	1. 研修プログラム全体の流れの確認 2. 演習の具体的な進め方	資料 ・市町村統括保健師研修の概要（演習講師用） ・受講者演習グループ一覧（案） ・ファシリテーションガイド（案） 参考資料 ・演習説明資料（案）（※受講者説明用） ・演習で使用する様式 ・受講者の課題取組例

## 2) 演習講師

各グループ（3～4名）にファシリテーターを1名と、全グループの進捗状況や内容調整等を行うため、ラウンダーを2名配置することとした。

### ○ ファシリテーター

グループ 番 号	氏 名	所 属
1	山崎 初美	神戸市こども家庭局こども家庭センター/調査役
2	岡本 浩二	川口市保健部/理事、川口市保健所/所長
3	深津 恵美	北海道科学大学 公衆衛生看護学専攻科/教授
4	小野 聡枝	神奈川県平塚保健福祉事務所秦野センター/所長
5	高山 美恵	富士河口湖町役場健康増進課
6	鳩野 洋子	熊本保健科学大学/特任教授
7	築場 玲子	宮城県保健福祉部医療人材対策室/保健福祉総務課/技術補佐
8	島村 通子	静岡県健康福祉部福祉長寿局介護保険課/主幹
9	菅原 奈保子	北上市健康こども部こども家庭センター/所長
10	森永 裕美子	岡山県立大学保健福祉学部看護学科/教授
11	鎌田 久美子	一般財団法人日本公衆衛生協会/参与
12	小泉 優理	埼玉県保健医療部 保健医療政策課/副課長

(敬称略)

### ○ ラウンダー

氏 名	所 属
五十嵐 久美子	国立保健医療科学院/統括研究官
菅野 匡彦	八王子市福祉部/部長

(敬称略)

## 4. 研修プログラム

今回実施したプログラムの1) 事前課題、2) 集合研修、3) 事後課題を以下に示す。

### 1) 事前課題

ねらい	学習方法・内容等	実施時期・提出時期等
<p>統括保健師の役割・機能を発揮するうえで必須となる知識を習得する。</p> <p>2040年を見据えて求められている保健師の保健活動のあり方を理解する。</p>	<p>1. 文献学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域保健対策の推進に関する基本的な指針. 2025. 3. 7</li> <li>・ 地域における保健師の保健活動について. 2013. 4. 19</li> <li>・ 日本看護協会：「保健師活動指針活用ガイド」. 2014. 3</li> <li>・ 厚生労働省委託：「令和5年度地域保健対策・保健師活動ワーキンググループ報告書」 2024. 3. 29</li> <li>・ 日本公衆衛生協会：「地方公共団体における効率的・効果的な保健活動の展開および計画的な保健師の育成・確保について」（分担事業者：曾根 智史）総合報告. 2019. 3</li> <li>・ 日本看護協会出版会：看護管理学習テキスト 第3版 第4巻「組織管理論」2025版. P30～36, P71～99</li> <li>・ 厚生労働省：「新たな地域医療構想等に関する検討会」とりまとめ. 2024. 12. 18 <a href="https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_47465.html">https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_47465.html</a></li> </ul> <p>2. 厚生労働省：「2040年を見据えた保健師活動のあり方に関する検討会」令和7年度（※令和6年度は地域保健総合推進事業として開催） <a href="https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/other-enkou_128580_00015.html">https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/other-enkou_128580_00015.html</a></p>	<p>【実施時期】 決定通知後～研修会まで</p> <p>※提出不要</p>
<p>所属自治体の組織構造を可視化し、保健師の配置状況や統括保健師の所掌範囲、意思決定等の現状を確認する。</p>	<p>3. 「基本情報シート」、「【様式1】組織見える化シート」の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組織構造、所掌範囲</li> <li>・ 保健師の配置状況、施策の意思決定ルート等の現状等</li> <li>・ 所属自治体の統括保健師の配置（位置づけ）</li> </ul>	<p>【実施時期】 決定通知後～研修会まで</p> <p>【提出時期等】 11月末に指定のメールアドレスにファイル添付にて提出のうえ、当日受付に以下の写を提出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本情報シート</li> <li>・ 様式1</li> </ul>
	<p>4. 「【様式2】統括保健師 課題焦点化シート」 ※ 可能な範囲でご記入ください</p>	<p>※提出不要 研修会当日に使用しません</p>

2) 集合研修

【2026年1月24日(1日目)】

時間	テーマ・学習方法	到達目標(ねらい)	講師
13:00	開会		
13:00~13:40	【講義】 2040年を見据えた地域保健 施策の動向と保健師活動	統括保健師として保健 師関連の国の動向を理 解する。	厚生労働省健康・ 生活衛生局健康課 保健指導室長 後藤 友美
13:40~14:20	【講義】 2040年に向けたこれからの 保健師活動を牽引する市町 村統括保健師の役割・機能 と期待	これからの市町村の保 健師活動を推進するう えでの統括保健師の役 割・機能を理解する。	日本看護協会 副会長 勝又 浜子
14:20~15:00	【講義】 自治体の組織運営と統括保 健師に求められる調整力	行政の組織運営におい て、統括保健師に求め られる調整力への理解 を深める。	八王子市福祉部 部長 菅野 匡彦
15:00~15:10	休憩		
15:10~17:00	【演習Ⅰ】(グループワーク) 統括保健師としての現状と 課題 ・自己紹介 ・自治体の組織体制 (様式1:組織見える化シート) ・現状・課題の分析(SWOT分 析)	行政組織や保健活動の 現状を踏まえ、健康課 題を組織的に解決する ための統括保健師の役 割・機能を理解するた め、現状の活動を振り 返る。	日本看護協会 常任理事 松本 珠実  演習講師
17:00~17:30	1日目のまとめ 2日目に向けたオリエンテーション		日本看護協会 常任理事 松本 珠実

時間	テーマ・学習方法	到達目標(ねらい)	講師
18:00~20:00	【ワールドカフェ】 2040年を見据え、統括保健 師としての取組のヒントを 得よう ・2040年における保健師活動 のイメージ化 ・そのために必要な条件は何 か ・統括保健師としてどのよう に取り組むか	2040年を見据えた保 健活動を想定し、必要 な取組についての理解 を深め、意見交換を通 じて仲間の取組から示 唆を得て、自らの統括 保健師としての取組の あり方について考え る。 統括保健師として、情 報共有や活動を推進す るためのネットワーク を構築する。	〈参加者〉 受講者 講師 演習講師

【2026年1月25日（2日目）】

時間	テーマ・学習方法	到達目標（ねらい）	講師
9:00～9:30	自己学習：「様式2：課題焦点化シート」の作成		
9:30～10:15	【講義】 自治体の政策形成を担う保健師の役割	統括保健師に求められる政策形成能力と方策について理解する。	同志社大学政策学部 総合政策科学研究科 教授 真山 達志
10:15～10:35	【講義】 統括保健師による人材育成・人事管理	市町村における人材育成・確保のあり方、人材の配置、現任教育における統括保健師の役割について理解を深める。	日本看護協会 常任理事 松本 珠実
10:35～10:55	【実践報告】 統括保健師による組織横断的な取組・調整の実際	統括保健師の組織横断的な取組や調整方法等のイメージを深める。	滋賀県守山市 健康福祉部 専門員 小川 靖子
10:55～11:55	【演習Ⅱ】（グループワーク） 統括保健師として取り組むべき課題の明確化 ・現状の確認 ・取り組む課題の明確化 （様式2：課題焦点化シート）	統括保健師として取り組まなければならないことを焦点化（言語化）する。	日本看護協会 常任理事 松本 珠実  演習講師
11:55～12:05	【演習Ⅲ】 統括保健師としての実践に向けた方策 ・演習Ⅲの説明・進め方	統括保健師としての目指すべきゴールを設定し、役割・機能を発揮するための行動計画を立案する。	日本看護協会 常任理事 松本 珠実
12:05～13:20	自己学習：「様式3：行動計画シート」の作成 お席にてご昼食		
13:20～15:00	【演習Ⅲ】（グループワーク） 統括保健師としての実践に向けた方策 ・統括保健師の行動目標・計画の立案 （様式3：行動計画シート）	統括保健師としての目指すべきゴールを設定し、役割・機能を発揮するための行動計画を立案する。	演習講師
15:00～15:20	研修総括（全体会） 事後課題の説明	研修での気づきや学びを共有・統合する。	日本看護協会 常任理事 松本 珠実
15:20～15:30	事務連絡 閉会		

## 【参考】演習講師打合せ及び演習・ワールドカフェの進め方

### ■ 演習講師打合せ

#### 1. 事前オリエンテーション

当日の演習説明資料及びファシリテーションガイド（下記）を使用し、研修会開催前にオンラインにて事前オリエンテーションを実施した。この中で各演習におけるファシリテーションのポイント等を説明し、演習の進め方について認識共有を行った。

#### 2. 研修会2日目の打合せ

研修会2日目の開始前に1日目の振り返りと2日目の演習に向けてのファシリテーション内容の認識のすり合わせを行った。

### ■ 演習 I

【時間】 15:10～17:00

【テーマ】 統括保健師としての現状と課題

【到達目標】 行政組織や保健活動の現状を踏まえ、健康課題を組織的に解決するための統括保健師の役割・機能を理解するため、現状の活動を振り返る。

時間	進行	担当者	内容	進め方
15:10 ～ 15:20 (10分)	オリエン テーショ ン	日本看 護協会	・演習全体の構成 ・演習 I の目的・進め方 ・【様式 1】組織見える 化シートの説明 ・SWOT 分析の説明	
15:20 ～ 17:00 (100分)	グループ ディスカ ッション  1人 24分 ～ 32分	ファシ リテー ター	1. 自己紹介 2. 自治体の組織体制の 発表	メンバー分の事前課題の配付希望を確認する（グループ内で承諾を得られた場合はファシリテーターから配付） 自己紹介は氏名・所属のみ 1) 発表順を決める 2) 記録担当者・記録用紙を確認する（次の発表者が記録を担当し、それを順に繰り返す） 3) 発表時の留意点を確認・共有する 留意点① ・自組織における統括保健師の位置づけ ・文書上の位置づけ・職位・所掌事務・人事管理への関与・掌握できる範囲など 留意点② ・部署横断的な連携体制の構築状況 ・会議・研修会・交流などの機会、時間内か時間外か、財源、他組織（国保連合会・看護協会等）との関係性など 4) 各自の組織構造・所掌範囲を発表する（各自作成の【様式 1】組織見える化シートを参照）

			5) 発表に対して不明な点を相互に質問する
		3. 現状・課題の分析 (SWOT 分析)	6) 現状・課題について【SWOT 分析シート】を用いて振り返る 7) 記録担当者は発表を聞きながら各自が掌握できる範囲を「内部」として【SWOT 分析シート】に「強み」と「弱み」を書き出す 8) 書き出した「強み」と「弱み」を読み上げ、他の要素がないか、発表者・他のメンバーからの意見を基に追加・修正する

## ■ 演習Ⅱ

【時間】 10:55～11:55

【テーマ】 統括保健師として取り組むべき課題の明確化

【到達目標】 統括保健師として取り組まなければならないことを焦点化（言語化）する。

時間	進行	担当者	内容	進め方
10:55 ～ 11:00 (5分)	オリエン テーショ ン	日本看 護協会	・ 演習Ⅱの目的・進め方 ・ 【様式2】課題焦点化 シートの説明	
11:00 ～ 11:55 (55分)	グループ ディスカ ッション  <u>1人：13 ～16分</u>	ファシ リテー ター	1. 整理した課題の発表 2. 意見交換（統括保健 師としての課題・役 割の明確化）	1) 発表順を決める（記録は各自自分のシート上で行う） 2) 発表項目①～④を確認・共有する ① 統括保健師に期待されていること ② 現在できていないこと ③ 原因 ④ 取り組んでいきたいこと 3) 統括保健師の機能・役割の1つについて①～④を発表する（各自作成の【様式2】課題焦点化シート参照） 4) 意見交換する/互いの理解を確認し合う

## ■ 演習Ⅲ

【時間】 11:55～15:00（昼食・休憩含む）

【テーマ】 統括保健師としての実践に向けた方策

【到達目標】 統括保健師としての目指すべきゴールを設定し、役割・機能を発揮するための行動計画を立案する。

時間	進行	担当者	内容	進め方
11:55 ～ 12:05 (10分)	オリエン テーショ ン	日本看 護協会	・ 演習Ⅲの目的・進め方 ・ 【様式3】行動計画シ ートの説明	
12:05 ～ 13:20 (75分)	自己学習  昼食	—	1. 【様式3】行動計画シ ートの作成  適宜昼食	1) 演習Ⅱでの課題に基づく「今後 取り組みたいこと」を踏まえて 各自、活動計画を作成する （【様式3】行動計画シートを用 いて作成）
13:20 ～ 14:45 (85分)	グループ ディスカ ッション  1人：21 ～28分	ファシ リテー ター	2. 行動目標・計画の発表 3. 取組計画の検討 （SWOT分析）	2) 発表順を決める 3) 演習Ⅰで使用した【SWOT分析シ ート】を各自手元に準備する 4) 各自の行動計画について発表す る（各自作成の【様式3】行動 計画シートを参照） 5) 発表者以外のメンバーは、発表 者の【SWOT分析シート】を見な がら、新たに計画できることは ないか互いに検討する
14:45 ～ 15:00 (15分)	講評	ファシ リテー ター	ファシリテーターからの講 評・質疑応答	6) グループごとに各自作成の行動 計画に関して検討した戦略・戦 術に関してフィードバックする

## ■ ワールドカフェ

【時間】 18:00～20:00

【テーマ】 2040年を見据え、統括保健師としての取組のヒントを得よう

【到達目標】

- ・ 2040年を見据えた保健活動を想定し、必要な取組についての理解を深め、意見交換を通じて仲間の取組から示唆を得て、自らの統括保健師としての取組のあり方について考える。
- ・ 統括保健師として、情報共有や活動を推進するためのネットワークを構築する。

※講師は3ラウンド中、最低1ラウンドは観察し、その結果をプログラム評価会議（2日目研修会後）にて共有とする。

時間	進行	内容	進め方
18:00 ～ 18:30 (30分)	オリエンテーション 夕食	・進め方・3ラウンドの説明 ・夕食の説明	・会場入室時にグループ分けのくじを引く。(花のシールが貼ってある方はリーダーとなる) ・各自着席
18:30 ～ 19:00 (30分)	【1ラウンド】 2040年における保健活動のあるべき姿とは？	1. 各自、考えを付箋に書いて発表・貼付 2. いくつかまとめてタイトルを付ける	1) 各自付箋に2040年の保健活動のあるべき姿を書き出す(※6分間で行う) 2) 各自発表しながらKJ法で分類し模造紙に付箋を貼付 3) ある程度意見がかたまったものにタイトルを付け模造紙に書く
19:00 ～ 19:20 (20分)	【2ラウンド】 あるべき保健活動を行うために必要な条件や要素は何か	3. タイトルごとに条件や要素を検討 4. 意見を模造紙に追記	4) 花1人を残してミツバチ(メンバー)は自由に空いている席に移動する 5) 集まったメンバーに花からタイトルを示す 6) タイトル1つずつについて、どのような条件や要素があるか意見交換する 7) 模造紙に加筆していく
19:20 ～ 19:40 (20分) 1人4分	【3ラウンド】 あるべき保健活動を推進するために統括保健師としてどのように取り組むか？	5. 統括保健師として取り組むことを検討 6. 意見を模造紙に追記	8) 元のテーブルに戻る 9) 他のテーブルで出た意見も加えて、統括保健師として取り組むことについて意見交換する 10) 模造紙に加筆していく
19:40 ～ 19:55 (15分) 1グループ5分	発表	7. 全体共有(ランダムに3グループから)	11) 各グループの花から、まとめを報告し共有する(各グループ作成の模造紙を示しながら共有)
19:55 ～ 20:00 (5分)	まとめ・連絡	8. 明日の予定確認	12) 講義・演習・ワールドカフェを通じて得た学びを基に【様式2】課題焦点化シートのテーマを1つ決める 13) 翌日9時30分までに【様式2】課題焦点化シートの①～④を記載するよう説明する

### 3) 事後課題

ねらい	学習方法・内容等	実施時期
統括保健師としての役割・機能を発揮できる	<p>【様式3】統括保健師 行動計画シートの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・統括保健師としての自組織での行動計画を完成する</li> </ul>	2026年2月末
	<p>【様式3】統括保健師 行動計画シートへ実施状況等の追記</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自組織での行動計画に基づき実施した内容と成果、促進要因を記載する。</li> </ul>	2026年3月～ 2026年6月
	<p>自己評価シート②（研修後）の記入し本会へ提出</p> <p>※ 事後課題については以下を推奨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自組織の上長に提出し、評価・フィードバックを得る。</li> <li>・管轄保健所の市町村担当の保健師又は都道府県庁の統括保健師のいずれかに研修成果を情報共有する。</li> </ul>	2026年6月末

## 5. 受講者の状況

1) 受講者数 37人

2) 受講者の属性

○所属組織（自治体）の種別

23都道府県から38人の応募があり、全員を受講対象とした。うち1人はキャンセルとなった。所属組織の種別は「一般市町村」が28人（75.7%）、「中核市」が3人（8.1%）、「指定都市」が4人（10.8%）、その他政令市が2人（5.4%）であった。都道府県別の受講者数は、以下のとおり。

地区	都道府県	人数	小計
北海道・東北	北海道	3	6
	岩手県	1	
	秋田県	1	
	山形県	1	
関東・甲信越	茨城県	1	17
	栃木県	2	
	埼玉県	4	
	千葉県	1	
	東京都	3	
	神奈川県	3	
	新潟県	1	
	山梨県	1	
	長野県	1	
東海・北陸	愛知県	1	2
	三重県	1	
近畿地区	滋賀県	4	6
	京都府	1	
	和歌山県	1	
中国・四国	鳥取県	1	4
	広島県	1	
	山口県	2	
九州	福岡県	2	2
	計	37	37

○統括保健師としての経験年数 (n=34)

統括保健師の経験年数は平均 2.3 年であり、2 年が最も多かった。全回答のうち、3 人は外れ値であったため除外し、34 人の経験年数を集計した。なお、34 人のうち統括的立場の保健師等も数名含まれる。

経験年数	受講者数	%
0	4	11.8
1	5	14.7
2	14	41.2
3	4	11.8
4	4	11.8
5	2	5.9
7	1	2.9

○職位(n=37)

職位は、課長級が半数以上と最も多く、約 6 割が課長級以上の職位であった。

職位	受講者数	%
部長級	2	5.4
副部長級	1	2.7
次長級	1	2.7
課長級	19	51.4
課長補佐級	9	24.3
係長級	5	13.5

○所属部門(n=37)

受講者の 8 割以上が保健衛生部門に所属していた。

所属部門	受講者数	%
保健衛生部門	31	83.8
保健衛生部門以外	6	16.2

○統括保健師の組織内の位置づけ(n=37)

「事務分掌に明記されている」が5割以上で最も多く、次いで「事務分掌に明記されていないが、保健師間で共有されている」であった。

統括保健師の組織内の位置づけ	受講者数	%
事務分掌に明記されている	19	51.4
事務分掌に明記されていないが、上司から言われている	1	2.7
事務分掌に明記されていないが、保健師間で共有されている	6	16.2
その他	11	29.7

なお、その他は以下のとおりであり、行政組織規則への明記のほか、設置規則や設置要綱による辞令に基づき位置づけがなされていた。

- ・ 行政組織規則に明記
- ・ 事務分掌に明記されていないが、設置規程あり（要綱）
- ・ 事務分掌に明記されていないが、市長及び人事部も了承
- ・ 事務分掌に明記はなく、統括保健師設置規程を策定、市長の選任による辞令交付
- ・ 辞令が出ている。要綱あり
- ・ 統括保健師は未設置だが現に統括的役割を担っている
- ・ 統括保健師をサポートする部の代表として保健師間で共有されている
- ・ 統括保健師設置要綱に明記
- ・ 配置表に明記されている
- ・ 保健師人材育成指針を策定し保健師間だけでなく、人事課と共有している
- ・ 本庁の統括保健師は、事務分掌に明記されているが、各区の統括は事務分掌には明記されていないが、保健師間では共有している

## Ⅲ 研修プログラムの評価

本研修の評価は以下の通りである。研修プログラムについては、事前と事後の2時点で受講者による「自己評価」を行い、2日間の集合研修の評価は、研修会終了後のアンケートにて行った。

### 1. 自己評価

#### 1) 目的

令和7年度市町村統括保健師研修会の受講者の「本研修の目標」に対する受講者の到達状況を把握する。

#### 2) 方法

(1) 対象者：研修会の受講者

(2) 実施時期

①事前：事前学習前（2025年12月）

②事後：研修会の当日（2026年1月）

※なお、事後課題提出後（研修会の6か月後（2026年6月頃））にも実施予定

(3) 自己評価表（※別添：資料 参照）

「事前」「事後」の評価は、自記式の自己評価表を用いた。自己評価表は5つの目標に対し、下位目標として17項目を設けた。下位目標(10)地域全体の健康課題の明確化や保健活動の優先度を検討する体制を整えることができる(11)「地域全体の健康課題」「保健活動の優先度」を政策・施策化、事業化の決定ルート（ライン上）にのせるための調整を行うことができる(13)計画的なジョブローテーションを含み、人材育成を推進できる(14)保健師の計画的な配置や採用に関与できるについては、更に下位項目を設け、全30問で構成した。

各項目は6段階（5：できる～0：できない）で評価し、その理由を自由記述とした。また、①「事前学習前」の評価では、評価表の最後に「統括保健師として活動する際の自身の強み・弱みについて、上手くできていること・苦手なこと・今後強化していきたいこと」を自由記述にて求めた。事後評価は、②研修会当日とした。なお、事後課題の提出後（研修会6か月後）の時点での自己評価も実施予定とし、受講者自身が実践を経ての変化を認知できるよう、同一の評価表を使用することとした。

また、①「事前学習前」の評価は、対象者が事前に自己評価表（用紙）へ記入後、Microsoft Formsへ入力し、回答する方法により実施した。事前に用紙へ記入することで、受講者自身が「事前学習前」と「研修後」の自身の変化を評価結果から認識をできるようにした。

#### 3) 分析方法

6段階（5：できる～0：できない）で実施した自己評価を数値化（範囲：0～150）し、「事前学習前」のみ個人の総得点を算出した。また、各項目について5～0の各評定値の度数及び割合を算出し、更に各項目全体の平均と標準偏差を求めた。

#### 4) 結果

##### (1) 「事前学習前」の得点

自己評価の総得点の平均は 79.3 点であった（図1）。最低得点 13 点、最高得点 148 点であった。自己評価の各項目別結果を表1に示す。項目別では「2）統括保健師の必要性が理解できる」の平均が 4.0 と最も高く、統括保健師の役割や必要性について理解は良好であった。一方で「11）②（統括保健師として）議員やマスメディア、他機関等の所属組織の外に対して健康課題や優先度、活動目標についてチャンスを見逃さずに説明する」の平均が 1.5 と最も低く、組織外での説明や調整などの実践にかかわる点について課題が見られた。

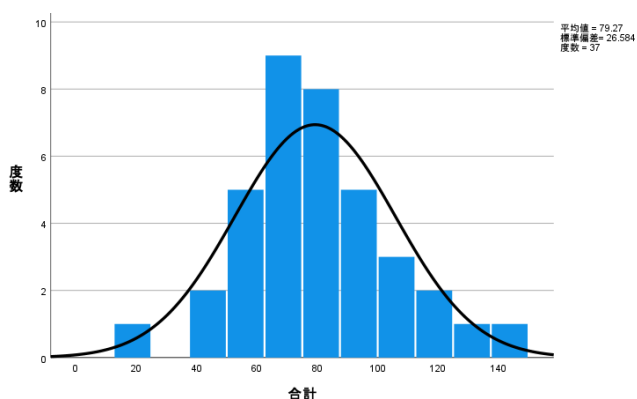


図1. 「事前学習前」の自己評価総得点の分布

表1. 自己評価シート（事前：事前学習前）

		達成状況							n=37	
		合計	できる 5	4	3	2	1	できない 0	平均	標準偏差
1. 2040年を見据えた保健活動を推進するために、地域保健を取り巻く社会情勢や施策の動向を理解し、統括保健師としての役割・機能が説明できる	1) 統括保健師の役割・機能が理解できる	37	5 (13.5)	16 (43.2)	13 (35.1)	2 (5.4)	1 (2.7)	0 (0.0)	3.6	0.9
	2) 統括保健師の必要性が理解できる	37	12 (32.4)	16 (43.2)	8 (21.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (2.7)	4.0	1.0
	3) 統括保健師の組織的な位置づけを理解できる	37	5 (13.5)	13 (35.1)	17 (45.9)	0 (0.0)	1 (2.7)	1 (2.7)	3.5	1.0
2. 所属自治体における健康課題の組織的な解決に向け、統括保健師として取り組むべき方策を具体的に説明できる	4) 統括保健師として自組織で果たさなければならない役割・機能が認識できる	37	3 (8.1)	17 (45.9)	11 (29.7)	5 (13.5)	0 (0.0)	1 (2.7)	3.4	1.0
	5) 統括保健師の役割・機能、位置づけ、自身が果たすべき役割が他者に説明できる	37	2 (5.4)	9 (24.3)	12 (32.4)	12 (32.4)	1 (2.7)	1 (2.7)	2.9	1.1
	6) 統括保健師として、自行政組織や保健活動の現状について説明ができる	37	3 (8.1)	6 (16.2)	15 (40.5)	9 (24.3)	4 (10.8)	0 (0.0)	2.9	1.1
3. 保健活動の向上のため、統括保健師のネットワークづくりの意義を説明できる	7) 自行政組織や保健活動の現状を踏まえ、統括保健師として取り組むべき課題について説明ができる	37	2 (5.4)	5 (13.5)	15 (40.5)	12 (32.4)	3 (8.1)	0 (0.0)	2.8	1.0
	8) 2040年を見据えた保健活動を推進するための統括保健師の取組みについて考えることができる	37	3 (8.1)	5 (13.5)	10 (27.0)	13 (35.1)	5 (13.5)	1 (2.7)	2.6	1.2
	9) 統括保健師として、情報共有や活動を推進するためのネットワークづくりの意義が理解できる	37	7 (18.9)	15 (40.5)	13 (35.1)	2 (5.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	3.7	0.8
4. 統括保健師としての役割・機能を発揮できる	10) 地域全体の健康課題の明確化や保健活動の優先度を検討する体制を整えることができる	37	1 (2.7)	6 (16.2)	10 (27.0)	13 (35.1)	6 (16.2)	1 (2.7)	2.5	1.1
	① (統括保健師として)保健師全体で自治体の健康課題を共有する機会をつくる	37	4 (10.8)	9 (24.3)	13 (35.1)	5 (13.5)	6 (16.2)	0 (0.0)	3.0	1.2
	② (統括保健師として)保健師全体で保健活動の優先度を検討し、決定する機会をつくる	37	2 (5.4)	5 (13.5)	7 (18.9)	14 (37.8)	4 (10.8)	5 (13.5)	2.2	1.3
	③ (統括保健師として)保健師全体で保健活動の目標を検討し、決定する機会をつくる	37	3 (8.1)	6 (16.2)	8 (21.6)	12 (32.4)	3 (8.1)	5 (13.5)	2.4	1.4
	④ (統括保健師として)保健師全体で保健活動の評価について共有する機会をつくる	37	1 (2.7)	4 (10.8)	11 (29.7)	14 (37.8)	2 (5.4)	5 (13.5)	2.3	1.2
	11) 「地域全体の健康課題」「保健活動の優先度」を政策・施策化、事業化の決定ルート(ライン上)にのせるための調整を行なうことができる	37	2 (5.4)	3 (8.1)	9 (24.3)	5 (13.5)	12 (32.4)	6 (16.2)	1.9	1.4
	① (統括保健師として)組織内上層部や関係部所と健康課題や優先度、活動目標を提案する機会をつくり、理解を得る	37	2 (5.4)	5 (13.5)	6 (16.2)	8 (21.6)	11 (29.7)	5 (13.5)	2.0	1.4
	② (統括保健師として)議員やマスメディア、他機関等の所属組織の外に対して健康課題や優先度、活動目標についてチャンスを見逃さずに説明する	37	0 (0.0)	3 (8.1)	9 (24.3)	6 (16.2)	5 (13.5)	14 (37.8)	1.5	1.4
	③ (統括保健師として)優先される保健活動の財源や資源の確保に向けて調整する	37	2 (5.4)	4 (10.8)	7 (18.9)	8 (21.6)	10 (27.0)	6 (16.2)	2.0	1.4
	12) 個々の保健師の専門性を育むために、成長に合わせた適材適所への配置、今後経験すべき業務が判断できる(キャリア形成支援)	37	3 (8.1)	7 (18.9)	12 (32.4)	8 (21.6)	4 (10.8)	3 (8.1)	2.7	1.3
	13) 計画的なジョブローテーションを含み、人材育成を推進できる	37	3 (8.1)	7 (18.9)	9 (24.3)	12 (32.4)	4 (10.8)	2 (5.4)	2.6	1.3
	① (統括保健師として)保健師の体系的な人材育成の方針を検討・作成する体制をつくる(既存のものがある場合は見直しを含む)	37	3 (8.1)	14 (37.8)	6 (16.2)	6 (16.2)	6 (16.2)	2 (5.4)	2.9	1.4
	② (統括保健師として)各期にある保健師の現任教育を実施する体制をつくる	37	2 (5.4)	9 (24.3)	10 (27.0)	10 (27.0)	5 (13.5)	1 (2.7)	2.7	1.2
③ (統括保健師として)保健師の成長を見据えて、適材適所への配置計画が立案できる	37	2 (5.4)	4 (10.8)	9 (24.3)	10 (27.0)	8 (21.6)	4 (10.8)	2.2	1.3	
④ (統括保健師として)人材育成の観点から保健師のジョブローテーションを組織に提案し、理解を得る	37	4 (10.8)	8 (21.6)	6 (16.2)	8 (21.6)	6 (16.2)	5 (13.5)	2.5	1.6	
14) 保健師の計画的な配置や採用に関与できる		37	4 (10.8)	6 (16.2)	6 (16.2)	5 (13.5)	8 (21.6)	8 (21.6)	2.2	1.7
	① (統括保健師として)保健師の計画的な配置や採用に関する案を根拠に基づき作成する	37	1 (2.7)	3 (8.1)	7 (18.9)	7 (18.9)	10 (27.0)	9 (24.3)	1.7	1.4
	② (統括保健師として)保健師の計画的な配置や採用に関する案を人事担当部所や保健師配属部所に提案し、理解を得る	37	3 (8.1)	5 (13.5)	7 (18.9)	6 (16.2)	11 (29.7)	5 (13.5)	2.1	1.5
15) 健康危機管理に備え、平時の体制整備に向けた保健活動の調整ができる	37	2 (5.4)	7 (18.9)	11 (29.7)	7 (18.9)	6 (16.2)	4 (10.8)	2.5	1.4	
5. 組織の中で統括保健師としての位置づけを確保できる	16) 統括保健師として、保健師仲間にも認められている	37	4 (10.8)	14 (37.8)	14 (37.8)	2 (5.4)	1 (2.7)	2 (5.4)	3.3	1.2
	17) 組織の中で、統括保健師として認められている	37	3 (8.1)	10 (27.0)	10 (27.0)	7 (18.9)	2 (5.4)	5 (13.5)	2.7	1.5

## (2) 「研修後：当日」の得点

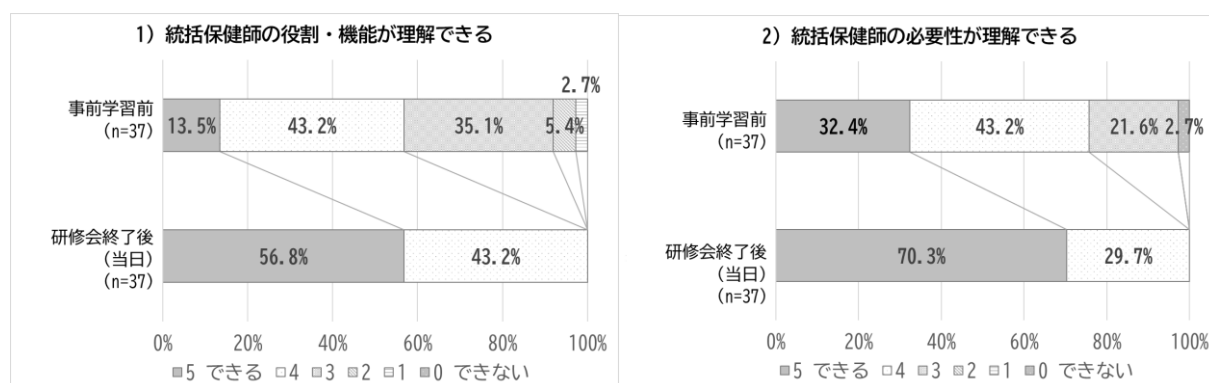
項目別（表2）では「2）統括保健師の必要性が理解できる」の平均が4.7と事前学習前同様に最も高かったが、どの項目も平均が3ポイント後半となっており、統括保健師の役割・機能や取組についての理解や説明については良好であった。

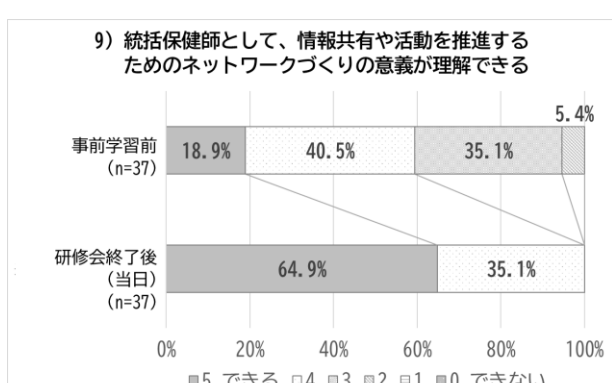
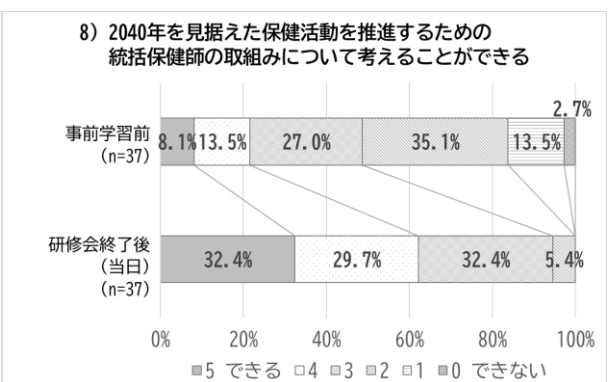
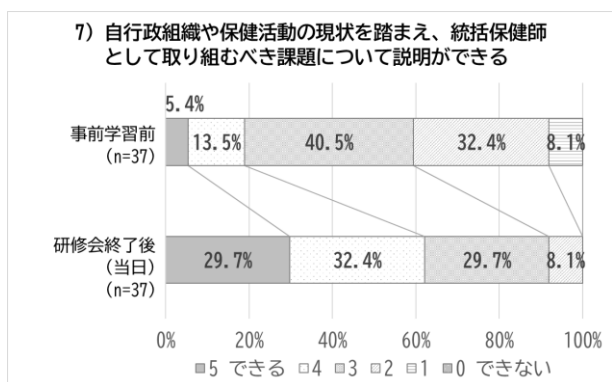
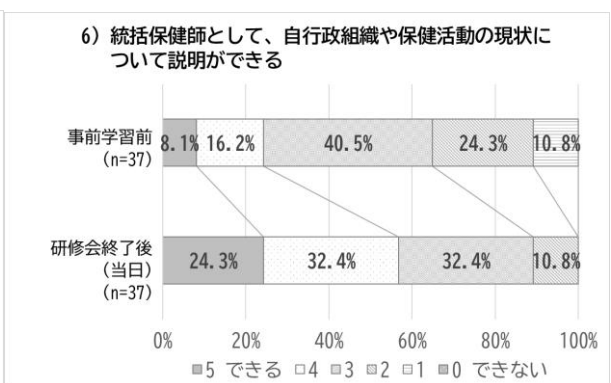
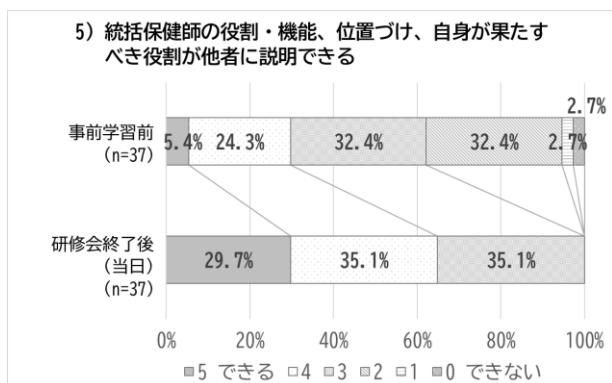
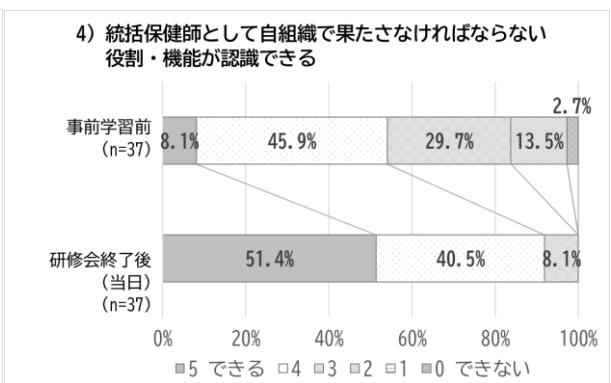
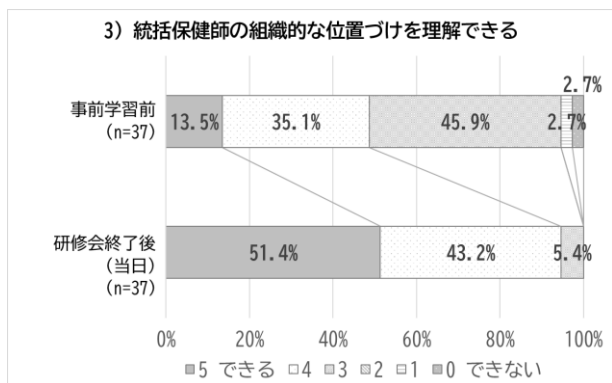
表2. 自己評価シート（研修後：当日）

	合計	達成状況						平均	標準偏差
		できる					できない 0		
		5	4	3	2	1			
1. 2040年を見据えた保健活動を推進するために、地域保健を取り巻く社会情勢や施策の動向を理解し、統括保健師としての役割・機能が説明できる	37	21 (56.8)	16 (43.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	4.6	0.5
2) 統括保健師の必要性が理解できる	37	26 (70.3)	11 (29.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	4.7	0.5
3) 統括保健師の組織的な位置づけを理解できる	37	19 (51.4)	16 (43.2)	2 (5.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	4.5	0.6
2. 所属自治体における健康課題の組織的な解決に向け、統括保健師として取り組むべき方を具体的に説明できる	37	19 (51.4)	15 (40.5)	3 (8.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	4.4	0.6
4) 統括保健師として自組織で果たさなければならない役割・機能が認識できる	37	11 (29.7)	13 (35.1)	13 (35.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3.9	0.8
5) 統括保健師の役割・機能、位置づけ、自身が果たすべき役割が他者に説明できる	37	9 (24.3)	12 (32.4)	12 (32.4)	4 (10.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	3.7	1.0
6) 統括保健師として、自行政組織や保健活動の現状について説明ができる	37	11 (29.7)	12 (32.4)	11 (29.7)	3 (8.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	3.8	0.9
7) 自行政組織や保健活動の現状を踏まえ、統括保健師として取り組むべき課題について説明ができる	37	12 (32.4)	11 (29.7)	12 (32.4)	2 (5.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	3.9	0.9
8) 2040年を見据えた保健活動を推進するための統括保健師の取組について考えることができる	37	24 (64.9)	13 (35.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	4.6	0.5
9) 統括保健師として、情報共有や活動を推進するためのネットワークづくりの意義が理解できる	37								

## (3) 「事前学習前」と「研修後：当日」の得点割合の変化

目標1, 2, 3に対する9つの下位目標の「事前学習前」と「研修後：当日」の平均と平均の差を示す。下位目標「8）2040年を見据えた保健活動を推進するための統括保健師の取組について考えることができる」の差が最も大きく1.3ポイント見られた。また、1）の統括保健師の役割・機能の理解や4）の自組織で果たさなければならない役割・機能の認識についても1.0ポイント上昇が見られていた。





## 2. 研修会の評価

### 1) 結果の概要

#### (1) 実施時期・期間について

研修期間や開催時期については7割が妥当であると回答した。また、自由記述において、通常業務の繁忙期ではない時期であったため参加がしやすかったと記載した者が多く見られた。一方で、事前課題の提出から集合研修までの期間が短いとの記載も見られた。

#### (2) プログラム内容の妥当性・満足度について

プログラムの内容（講演、演習、ディスカッション等）は7割が妥当であると回答した。また、受講者全員が講義、演習、ディスカッションのすべての内容に対して統括保健師としての実践に役立てることができそうかに対して、そう思う・とてもそう思うと回答した。

一方で、プログラム内容が濃密なため充実はしているがハードワークであったとの自由記述も見られており、休息も十分にとれるような研修時間の設計が求められていた。

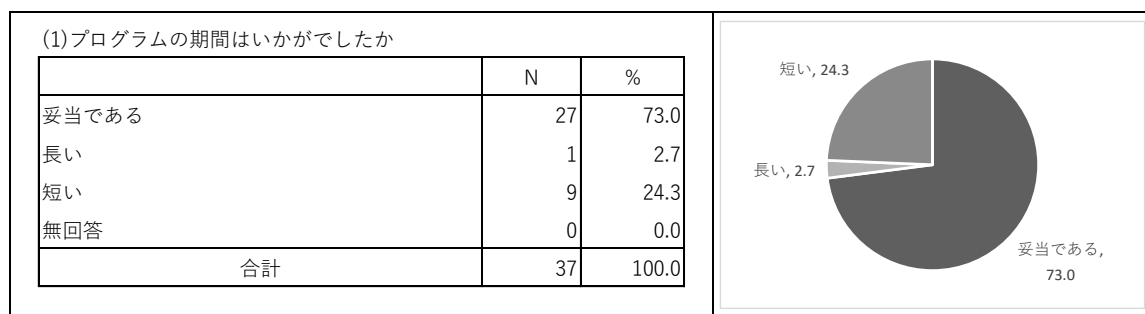
### 2) 項目別の結果

#### ●本プログラムの企画及び結果評価について

##### (1) プログラム全体について

##### ① プログラムの期間

7割が妥当と回答し、概ね良好な期間であった。一方で、2割が短いと回答しており、事前課題の提出期間にゆとりを持つことを希望していた。



#### 【回答の理由】（一部抜粋し要約）

##### 妥当である

- 内容を考えると妥当
- 事前課題から集合研修、事後課題提出までの期間が妥当だった
- 課題提出の時間に余裕があった
- これ以上の期間は参加しづらい、業務に支障がない期間である
- 休日での研修期間としては妥当
- 遠方からの受講者にとってぎりぎり1泊2日で参加できた

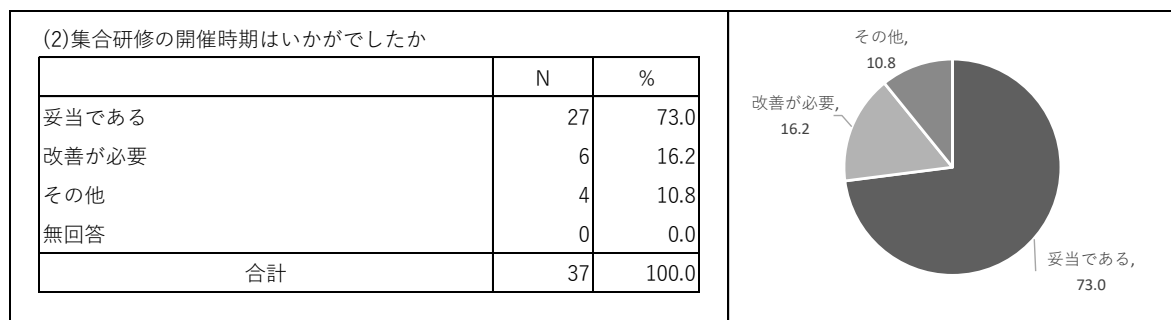
##### 短い

- 内容が盛りだくさんであり、短期集中で慌ただしかった
- グループワークも含め、もう少し時間をかけて取り組みたかった

- 課題提出までの期間が短かった
- 受講者同士の交流や情報交換の時間がとれなかった
- 集合研修の2日間について、もう少し余裕を持たせて欲しい
- 食事やトイレ休憩などの時間がなかった

## ② 集合研修の開催時期

7割が妥当であると回答し、業務が集中する時期ではなかったことが概ね良好な回答に影響していた。



### 【回答の理由】（一部抜粋し要約）

#### 妥当である

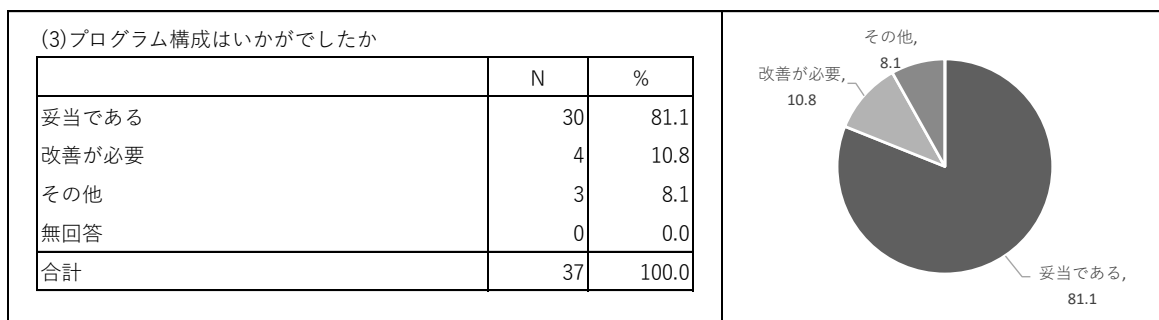
- 1～2月は事業が落ち着く時期で、予算や議会对応等の繁忙期とも重ならないため
- 今年度から統括保健師になった方も自組織の課題等がある程度イメージできる時期である
- 統括保健師の補佐的立場として、どのような心構えや準備が必要か理解が深まったため
- 担当業務によっては1月が多忙になる可能性もある
- 関連学会や会議と重ならない時期
- 移動が楽
- 土日開催で参加しやすかった
- 平日開催の方がよい
- 研修で整理した課題に取り組むことを考えると、年度末では遅いので妥当
- 雪による交通の影響はあったが、どの時期でも様々な影響があるのでやむを得ない

#### 改善が必要

- 雪の影響があるため、交通機関の影響が少ない時期に開催して欲しい
- 取り組みを評価する際に異動等の影響で評価しづらいのではないかと。8月頃までに開催し、年度末の評価でもよいと思う
- 年度内に事後課題まで終わる方が取り組みやすい
- 次年度予算要求中であるため

## ③ プログラム構成

8割が妥当であると回答し、自由記述では事前課題から集合研修へと段階を踏むことで学びを深められたと記載された方が多く見られた。一方で、事後課題提出後に再度集合研修を行い、学びを更に深めたいとの希望も聞かれた。



【回答の理由】（一部抜粋し要約）

**妥当である**

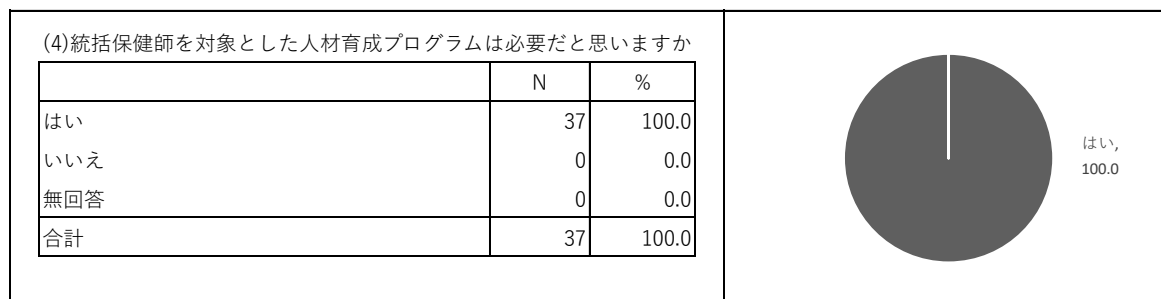
- 事前課題、集合研修、事後課題の段階的な設定により、学びを理解から実践につなげることができた
- 事前課題により現状・課題が明確化され、事前の整理になり研修がより充実した
- 自分の状況を客観的に捉えることができた
- 事前課題での疑問に対して集合研修で答えを見つけられる内容になっていた
- 書き込むことで改めて整理でき勉強になる部分が多かった
- 事前課題で関係資料を学習できたのはよかった
- 他自治体との状況共有のためにも事前課題で自組織の状況を資料にしておくことは必要
- 事後課題があることで、研修の内容をいかせる、実践につながる、集合研修での気づきや学びを具体的にいかすことができる
- 自組織の課題と、それに対する検討、実践に結び付くため
- 講義だけでなく、自分で課題設定まですることが深い学びにつながる
- 講義と演習のバランスはよい
- 思考と言語化から自分なりの理解ができた
- 講義により多角的に統括保健師を捉えることができた
- 県内・管内の研修では学べない・感じ取れない経験ができた
- 演習の時間は他自治体との情報共有もでき有益だった
- ワールドカフェで統括保健師同士の交流をしながら課題に取り組むことはよかった
- 講師から直接研修を受けることで改めて理解が深まることを実感
- グループワークで課題を共有し、共に考えることが刺激となった
- 充実したプログラムであった
- 目的意識の高い方々との出会いとつながりの機会となり意識が高まった

**改善が必要**

- プログラム内容が濃く、課題の量が多いため、受講を躊躇った
- もう少し時間の余裕が欲しい、タイトなスケジュールなので必死でついていった
- もう少しグループワークの時間を増やして欲しい
- 食事や休憩時間を確保して欲しい
- 事後研修の後に再度集合研修が開催されて、学びが深められるとよい
- 自グループ以外の受講者と話ができる時間が欲しい

④ 統括保健師を対象とした人材育成プログラムは必要か

全受講者が必要と回答し、身近な統括保健師のロールモデルがないことから、体系的に育成するプログラムの必要性を述べていた。



【回答の理由】（一部抜粋し要約）

はい

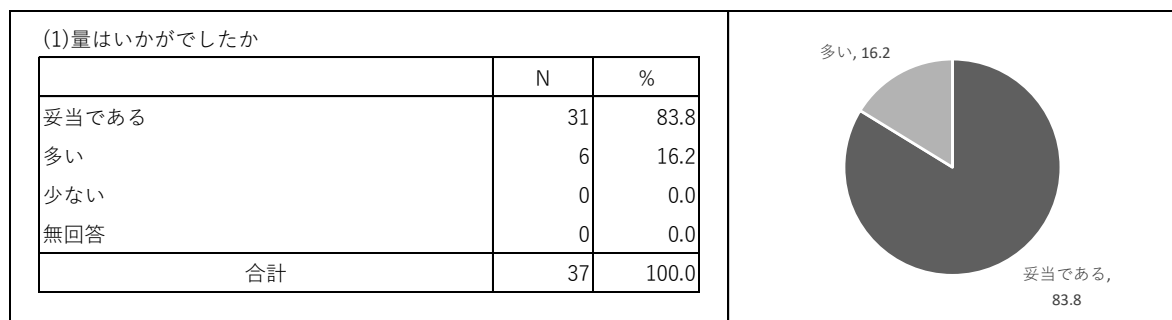
- 再教育が必要、統括保健師である期間が短いので育成が必要
- 統一したプログラムがあることが望ましい、小規模な自治体では、直接研修を受ける機会がない、統括保健師に焦点を当てた内容はない
- 既存の人材育成プログラムに足していく視点のプログラムであるとよい
- 個人の経験のみに依存した育成には限界がある。体系的に学ぶことができる人材育成マニュアルが必要
- ロールモデルが少ない、身近にいない
- 目指すべきものがわかるため
- 統括保健師はどのような役割を担うのか悩んでいる保健師が多いと思う
- 統括保健師の役割を保健師全体で理解することが大事
- 全国を対象とした2日間のプログラムであれば参加しやすく、統括保健師同士のネットワークづくりに有効、全国レベルの研修で類似自治体の統括保健師とつながることができた
- 講義や他自治体の統括保健師の方との情報交換を通して自分自身の取り組みの課題が見えた。このような経験は自組織による統括保健師の人材育成だけではできない
- 自組織を俯瞰的に捉え、自身が保健師活動の原点に立ち返ることができる研修会や統括保健師のネットワークが必要
- 市町村の統括保健師は求められることが多いため、学びと情報交換の機会が欲しい、他市町村の話聞く機会となる、統括保健師だからこそその苦悩やつらさ、悩みを共有できる
- 統括保健師の設置が広まっていない市町村の行政職に対しても役割の説明が必要
- 後進を育成するために、体系的な育成プログラムがあった方がよい、後世の保健師たちへバトンタッチしていく仕組みを形にしていけるためにも必要
- 自組織内での統括保健師の役割を考え実行していくためには必要
- 統括保健師自身が常にスキルアップを図る必要がある、統括保健師がしっかり学ぶことで各組織の保健事業の質を向上させる
- 統括保健師として何が求められているか広い視点で学ぶことは大切であり、統括保健師になる覚悟や統括保健師の共通のマインドを持つ必要がある
- 統括保健師の意義も理解せず昇格することで組織の弱体化につながる

- 日本全体の統括保健師の力量形成が必要
- 統括保健師としての自覚と覚悟を持つことができ、モチベーションアップにつながる
- プレ統括（副統括）の研修もして欲しい

## (2) 事前学習について

### ① 事前学習の量

8割が妥当であると回答した。一方でポイントを絞って量を減らすなど負担の軽減を求める記載も見られた。



#### 【回答の理由】（一部抜粋し要約）

##### 妥当である

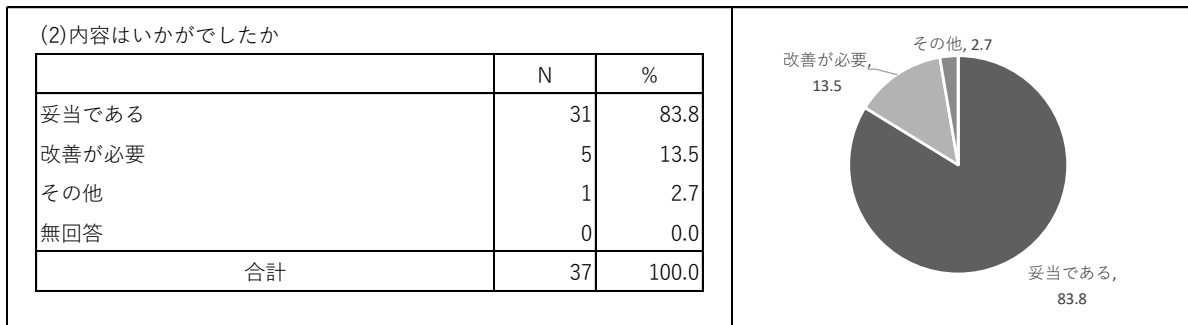
- 業務に支障がない量だった、大きな負担にはならなかった
- 研修までの期間が十分あったので準備できた。研修期間を変更する際は、事前課題の準備期間への配慮があるとよい
- 意見交換のために自分の自治体のことを整理しておく必要がある
- 演習を進めるうえでは必要であり、課題を明確化するために必要な量だった
- 集合研修への準備としては適切
- 自組織を見直す機会や改めて疑問を整理することができ必要だった
- もともと感じている課題を整理するもので新たに検討するものではないため、一つ一つ考えながら整理していく機会となった
- 統括保健師として活動するために必要な資料、必要な資料に絞ってあった

##### 多い

- もう少しポイントを絞って欲しい
- もう少し量が少ない方がよい

### ② 事前学習の内容

8割が妥当であると回答し、自組織の状況の整理や課題の明確化につながったと述べていた。



【回答の理由】（一部抜粋し要約）

**妥当である**

- 演習で情報交換する際に必要
- 課題を通して振り返り、考えることができた
- 自組織の状況を整理するのに役立った
- 自組織を見直す機会となった、疑問を整理できた
- 研修で学ぶべきことが確認でき、自分の状況を客観的に捉えることができた
- 自分の理解等を振り返ることができた
- 他自治体の状況がわかる
- 目的と内容が明確だった

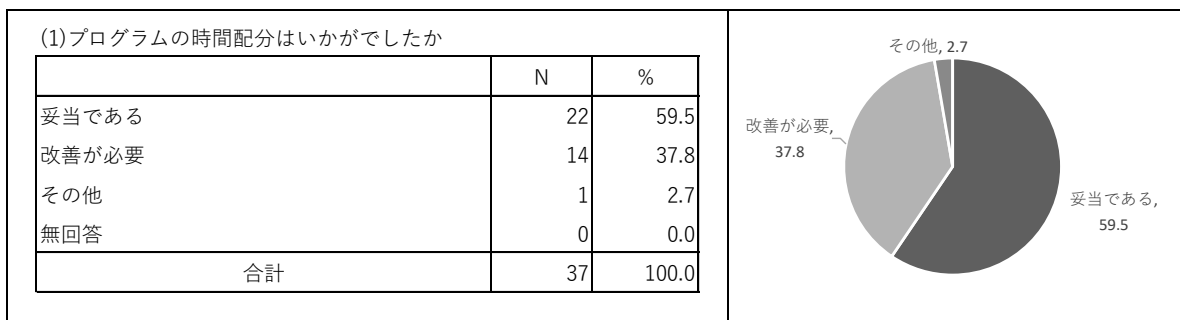
**改善が必要**

- 政令市と区では状況が異なるので、課題等のテーマが絞れるとより有意義だと思った
- 自己評価シートのボリュームが多い、事前評価ももう少し量が減ると書きやすい
- 自己評価シートの入力がエクセルとネットで二度手間に感じた

(3) 研修について

① プログラムの時間配分

6割が「妥当である」、3割が「改善が必要」と回答とした。講義、演習の時間配分はよかったが、休憩や食事時間の確保の必要性を述べていた。



【回答の理由】（一部抜粋し要約）

**妥当である**

- タイトなスケジュールだったが内容が充実していたので仕方ない、忙しいが集中して参加できた、密度濃く十分咀嚼できなかった部分はあるが、そこは日々実践の中でゆっくり確認できると思う、無駄なく時間配分されていた

○ファシリテーターの進行やスーパーバイズにより時間内に実りや気づきが多いグループワークだった

○ワールドカフェはやや慌ただしかった、食事を楽しむ時間が少なかった

**改善が必要**

○もう少し休憩時間があるとよい

○食事時間にももう少しゆとりが欲しかった

○もう少し座学の時間を長くにとって欲しかった

○もう少し詳しく聞きたい内容もあった

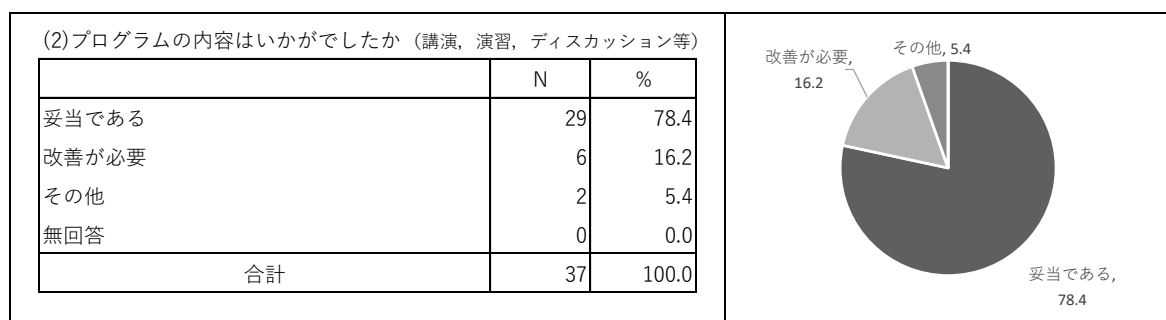
○自由な交流とネットワークづくりの時間が欲しかった

○講師に質疑できる時間が欲しかった

○全体的に慌ただしかった

② プログラムの内容（講演、演習、ディスカッション等）

7割が妥当であると回答し、講義と演習のつながりがあったことや演習が十分に設けられていたことで受講者同士のディスカッションを通して学びを深められたと述べていた。



【回答の理由】（一部抜粋し要約）

**妥当である**

○SWOT 分析は初めてであり、内容理解が不十分なまま演習がスタートした感が若干ある

○メリハリがあった

○とても充実した内容でよかった

○演習中心のプログラムでよかった

○演習の内容が自分の課題を振り返ることにつながった

○他自治体の統括保健師と交流できた

○多角的な視点で学べた

**改善が必要**

○グループワークの班以外の受講者と話ができる時間が欲しかった

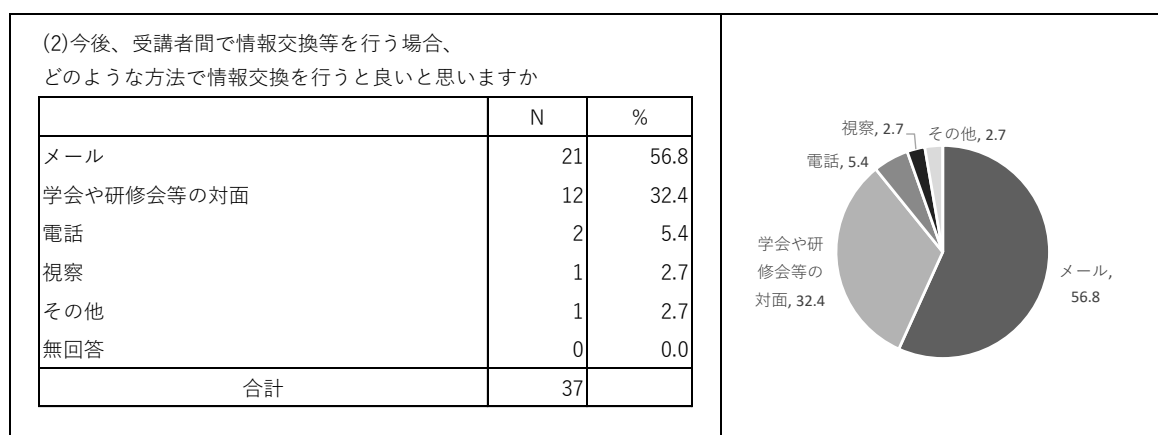
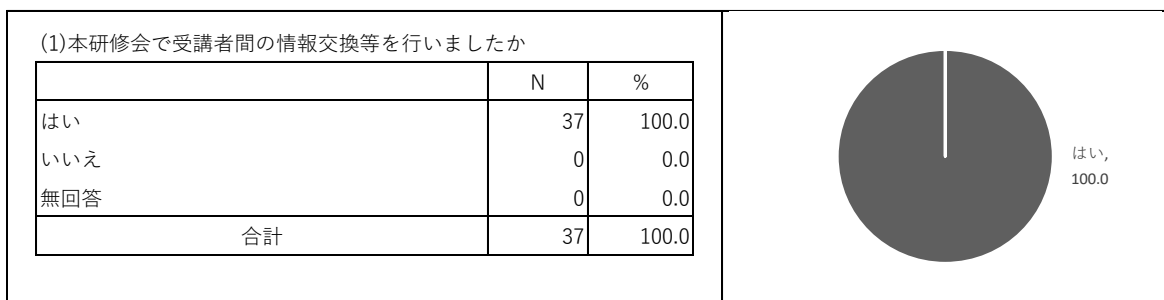
○ワールドカフェはよい機会であったが、食事は別で時間を確保できるとよかった、落ち着いたなかった

○講演は学術的な立場からのお話も聞きたかった

○SWOT 分析がわかりにくかった。事前学習で学んでいれば、さらに効果的に使えたのではない

#### (4) 受講者同士の情報交換等について

全受講者が研修会で情報交換を行っていた。受講者間での情報交換は「メール」(5割)が最も多く推奨された。



#### 【回答の理由】(一部抜粋し要約)

##### (1)はい

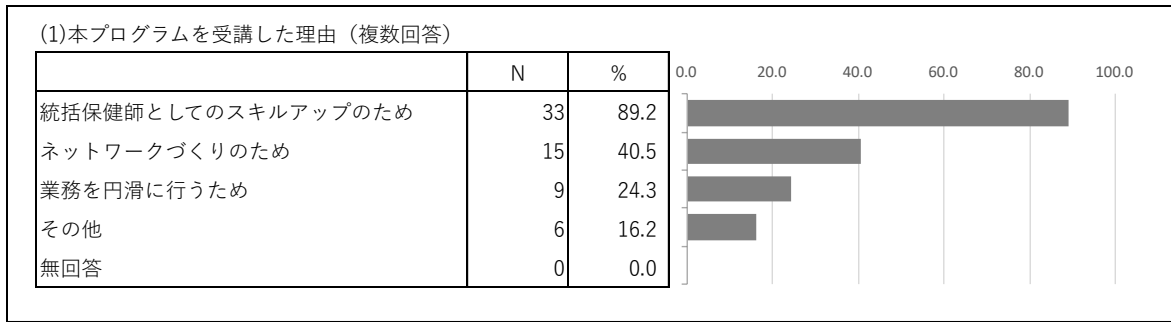
- グループワーク、ワールドカフェ、朝食時間、休憩時間で情報交換できた
- メール交換しており、受講後も情報交換を行う予定
- グループメンバー、ファシリテーターの先生とも名刺交換・ライン交換できた
- 受講者了承のもと、名簿があるとよかった
- グループワークで、規模や課題が近い自治体と一緒にだったことにより情報交換しやすかった

#### ●プログラム参加に関して

##### (1) 研修参加時の状況

##### ① 本プログラムを受講した理由

受講した理由として、「統括保健師としてのスキルアップのため」が最も多く、次いで「ネットワークづくりのため」と回答した。



【回答の理由】（一部抜粋し要約）

統括保健師としてのスキルアップのため

ネットワークづくりのため

業務を円滑に行うため

○できていること、できていないことを振り返るため

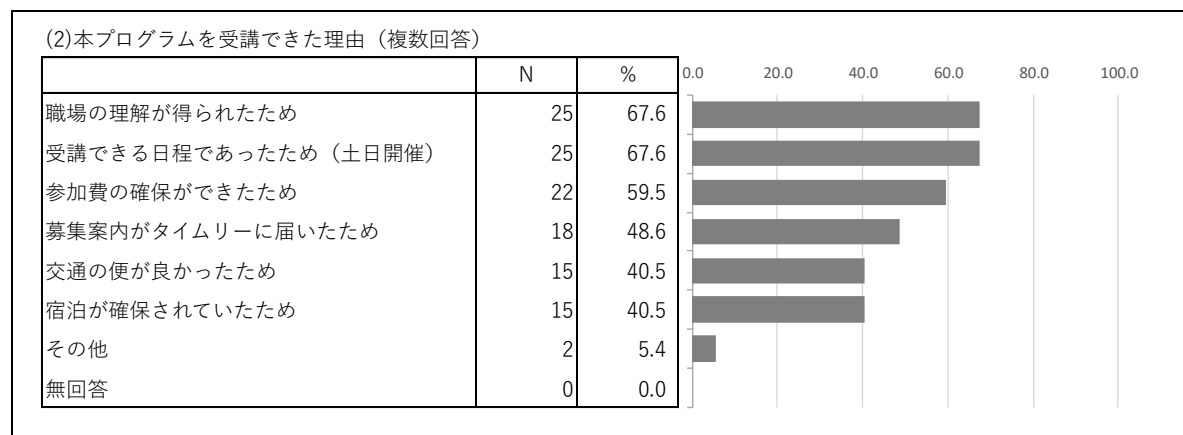
○統括保健師に焦点を当てた研修に参加したことがなかったため

○統括保健師をサポートしたり、育成に向けて現場の保健師をサポートしていくため

○他自治体の統括保健師の方の状況や工夫、取り組みを知りたかった

② 本プログラムを受講できた理由

受講できた理由として、「職場の理解が得られたため」、「受講できる日程であったため（土日開催）」が最も多く、次いで「参加費の確保ができたため」と回答した。



③ どのような環境を整えば参加しやすいか（自由記述）

予算確保のために半年～1年前の早めの開催周知が必要と記述したかたが多数見られた。また、平日開催の希望も数名見られた。

【自由記述】（一部抜粋し要約）

○土日開催がよい

○平日開催がよい

○10月末、1月末の開催が参加しやすい

○予算確保の関係から、1年前には開催の内容や日程がわかるとよい、6月末、10月末頃までにわかるとよい

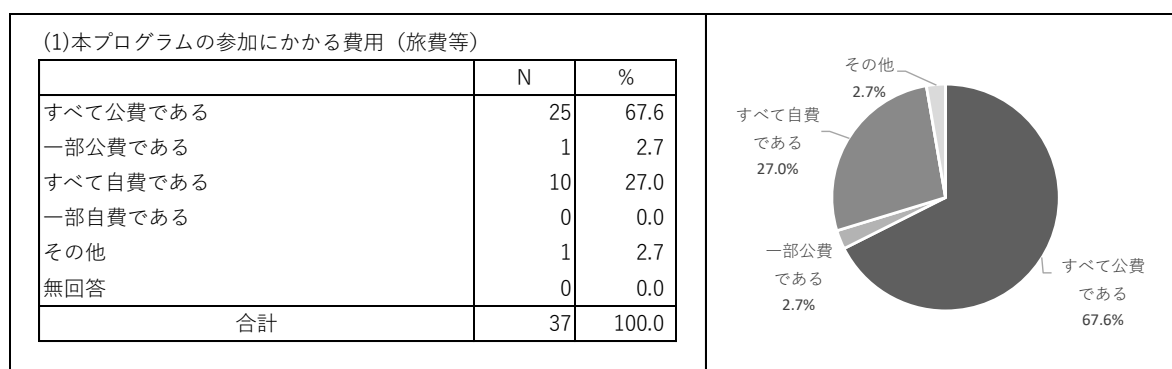
○厚生労働省や県などから支持がある研修

- 具体的な研修内容の提示や研修をどのようなことにかせるかわかると、保健師でない上司にも理解を得やすい
- 研修費が低額である
- 年度初めに研修計画を作成するので、間に合うように情報があるとよい
- 県からの助成があると助かる
- 上司からの推薦、職場の理解、予算の確保
- 努力義務化してもらえると予算化や参加日確保につながりやすい
- 統括保健師の重要性について首長の理解が得られる働きかけがあるとありがたい
- 予算確保も内容が研修と実費が混ざっていると説明がつかない

## (2) 参加にかかる経費について

### ① 本プログラムの参加にかかる費用（旅費等）

6割が「すべて公費である」と回答し、研修費から捻出されていた。また2割の方がすべて自費で参加していた。



※ 本評価については、令和7年度市町村統括保健師研修会の受講者データに基づくものであり、未受講者の意見聴取はできていないため、結果の解釈については配慮が必要である。

## 3) 第3回有識者会議（研修会終了後）におけるプログラム評価結果

本研修プログラムの評価については、集合研修終了後、演習講師の参加を得て実施した。研修プログラム全体については概ね良好との評価であった。なお、更なる研修の効果を図るため、受講者のレディネスや現状、研修の方法等の課題を含め、以下の意見等があり、今後の研修プログラムへの活用にあたっては、調整等の必要性が示唆された。

### ■ 事前学習

- ・ 事前学習は、地区活動等について、これまで言語化できなかったことを自分の言葉で説明できるようにする内容で、非常に有意義だったとの声があった。

### ■ 講義

- ・ 市町村に向けに構成されており、行政能力を持てと現場で言われている中で、どこを分析したらよいのかを整理できたのではないかと。

- ・ 講義は実践に活用できる内容であり、演習とのつながりもあったため学びを深められたのではないか。
- ・ 講義は1日目・2日目ともに2つずつとし、その分グループワークに時間を割いてもよかったのではないか。
- ・ どのように行えばよいのか、もう一步具体的に聞ける時間や質疑応答があるとよかった。
- ・ 講義は受講者が現場に戻ったときに後輩など皆をまとめるために使える道具としてもよい内容であった。

## ■ 演習

### 〈内容〉

- ・ 経験の差により研修目標の到達度にも違いが生じるため、統括としての現場活動のイメージが持てるような内容も含めた方がよかった。
- ・ 現場の話に終始せず、統括としての思考プロセスを体験できたことはよかった。
- ・ 明日から現場でどう取り組むかをもう少し詰めて終了できるとよかった。

### 〈グループ編成〉

- ・ 演習グループのメンバーを同じ規模の市町村としたため、多くを話さなくても課題が理解でき、どのように取り組むかにさっと入っていくことができた。同じ規模の市町村で話せたことはよかった。
- ・ 他のメンバーの話聞き、町内全体の活動がより活発となるようにしたいという気持ちに変化したと話していた。刺激し合い、よいグループワークになっていた。
- ・ グループ人数は受講者一人にかかる時間を確保するためにも3人でよかった。

### 〈SWOT分析〉

- ・ 一つのツールとして方法論の幅がでるため SWOT 分析ができたのはよかった。
- ・ 内部環境・外部環境の強み・弱みを分析することで、自分の所管範囲を知ることにつながり、加えて外部環境である他の組織、機関との関係の希薄さ感じられていた。
- ・ クロス分析に関しては、受講者が記載した SWOT 分析シートが手元にあるとよかった。
- ・ SWOT 分析で整理をすると、意思形成過程だけでなく強み・弱みを踏まえた結果までの過程を誰にでもわかりやすく示すことができる。新しいことを生み出すときに、ロジックを持って他者に示し説得することの意義が伝わるとよい。
- ・ SWOT 分析は初めての方が多かった。受講者へのオリエンテーションをもう少し時間を確保して実施した方が、分析が深められたと思う。活用まではファシリテーターとしても難しかった。

## ■ ワールドカフェ

- ・ 意思形成過程に多様な人が入ってくることを体感する方法であり、持ち帰ってそれぞれでも行えると思った。
- ・ ワールドカフェの内容は、組織の保健師皆が自分事として将来のビジョンを考え、作ることができる内容であり、受講者が「参加してよかった」「保健師たちと一緒にやりたい」と話していた。

- ・ グループ内のリーダーが役割を果たせるように、急にリーダーを決めるのではなく、事前に役割分担をしておく方がよい。
- ・ 受講者の生の声が多く出され有意義な内容であったため食事しながらではない方がよかった。

#### ■ 研修の構成

- ・ 研修の組み立てを考えたとき、目標に対しどこを着地すればよいのかが難しかった。到達目標に対する着地点をどこにするのか、もう少し絞ってもよかった。研修の中で複数の手段を取るのではなく、一つの手段にしてもよかった。
- ・ 実際に組織横断的に調整するという事は難しいため、好事例を示しながら説明できたらよい。
- ・ 先輩たちの失敗談も伝え、組織の中でどのようなことが、どのように影響するとか、行政保健師としてはどのような姿勢で向かうべきとか、交渉術とか、基礎的なところを皆で共有できるとよかった。

#### ■ 研修の効果等

- ・ 互いに参考になる取組があり、やってみようと思えたり、できていないことを互いに認め合ったりする機会になっていた。
- ・ 研修の参加により新しい気づきも多くあり、皆が孤独で悩んでいることがわかるため、同じ立場の人たちと情報共有できることは非常に有意義だったと思う。

#### ■ 対象者設定・研修費等

- ・ 自治体によっては統括保健師以上の保健師のポジションはない。研修での学びを自組織にどうフィードバックできるのか考えるとなかなか参加がしにくいのではないか。そのため、現時点で統括的立場にある者ではなく、次期の世代が参加できることが望ましいのではないか。
- ・ 補佐や次期の者なども統括的立場としてのやり方を知るという意味で参加してもよいと思った。
- ・ 自費での受講者へ何らかの援助ができないかということを感じた。
- ・ 受講者は皆名簿が欲しいと話していた。名簿配布があるとよかった。

### 3. まとめ

本研修では、市町村統括保健師が2040年を見据えた保健活動を描きつつ、担うべき機能・役割を果たすための実践力を着実に身に付けることができるよう、事前課題、集合研修、事後課題の構成としたプログラムを実施した。

#### 【事前課題・事後課題】

限られた時間となる集合研修での学びが深められるよう、文献や政策動向等による自己学習を事前課題とし、集合研修による学びが明日への実践につながるよう、事後課題の提出も求めた。事後課題については、今後、提出予定であるため現時点で評価することは難しいが、事前課題から集合研修へと段階的に学びを深められたことは受講者から好評であった。

#### 【集合研修】

自治体に求められる政策形成のあり方等を踏まえながら、改めて統括保健師の機能・役割の意義や重要性を学ぶ機会とし、演習では、統括保健師としての実践活動に結びつくよう、事前課題・集合研修・事後課題も含めて段階的に演習のねらいに到達できるよう工夫した。また、演習のグループワークを少人数で行い、熟達した演習講師を配置し、受講者個々の活動計画の立案につながるよう、きめ細やかな指導等を行った。なお、演習では、SWOT分析を用いて、戦略的な活動実践に結び付けることも目指したが、演習講師も含め、実際の業務でSWOT分析を活用している受講者が少なく、その活用の難しさが見られた。

#### 【プログラム評価】

自己評価から考えられる受講者のレディネスとして、事前学習前（事前課題に取り組む前の段階）には「統括保健師の役割や必要性についての理解」や「果たさなければならない役割・機能の認識」は良好であった。「2040年に向けた保健活動を推進するための統括保健師の取組について考えることができる」はやや低値であったが、研修受講後には1.3ポイント上昇し、理解が明らかに向上したことを確認できた。その他の市町村統括保健師の役割・機能や取り組むべき方針に関連する項目についても、研修受講を経て、その理解が向上したことが確認できた。このことから、事前課題・研修受講は受講者の統括保健師としての役割発揮に必要な事項の理解や認識の深化に効果的であったと考えられる。実践に関する事項は、今後、事後課題への取り組みを経た受講者評価の変化を確認し評価を行うため、その点も合わせた最終的なプログラム評価が必要である。

研修後のプログラム評価ではプログラム構成・内容ともに受講者からの評価は概ね良好であった。具体的には事前課題から集合研修の段階的な設計により、自組織の課題の明確化とそれに対する検討を行い、日々の実践にいかせると評価していた。また、グループワークやワールドカフェで受講者同士のディスカッションや交流を行うことで自組織の取組への活用や意識の向上の一助となっていた。さらに、演習講師からは、普段保健師を対象とした研修においては都道府県に焦点を当てた講義が多いものの、本研修では市町村に焦点を当てた内容であり、受講者の理解の

促進につながり、また講義で理解したことを演習につなげるというロジックが適切であったと評価を得た。

以上より、本研修プログラムは目的に沿った段階的な設計と充実した研修内容から受講者の実践力強化につながる効果的な内容であったと評価する。しかし、一部プログラム内容・構成について検討の必要性が挙げられた。加えて、本研修プログラムの実施時期が年度後半であったため、事後課題のフォローまで至らなかった。このため今後は、これらの課題を含め研修の実施と評価を継続して取り組んでいく。

## 今後に向けて

2040年を見据えて求められる保健師活動、保健指導・保健活動等を踏まえ、有識者の協力を得て研修プログラムを再考し、市町村統括保健師及びその立場にある保健師を対象とした研修会を開催した。

受講者は、統括保健師として自自治体の健康課題や保健師の確保・育成、健康危機管理まで、統括保健師としての機能・役割を踏まえ、現状の課題等を落とし込みながら、統括保健師としての行動計画の作成に向けて、演習にも果敢に取り組んだ。また、ワールドカフェでは、2040年を見据えた保健師活動に向けた意見交換も積極的に行われ、情報交換やネットワークづくりにもつながったのではないだろうか。

2040年に向け少子高齢化の更なる進展や人口減少に伴い、地域社会が大きく変動する状況の中で、地域の保健師活動を牽引する統括保健師の機能・役割の重要性や期待は益々高まっている。自治体規模が異なっても、統括保健師のマネジメントによる保健師活動、保健指導・保健活動の効果的・効率的な展開は、今後の自治体運営や経営にも大きく影響するものであり、そのマネジメント力の一層の強化が望まれる。

市町村の統括保健師を対象とした研修は需要があるものの実施状況は十分ではない。本会以外で同様の研修を行うためには、都道府県及び都道府県看護協会での実施にかかる課題の把握が必要である。また、本研修では集合研修後のフォローアップはプログラムには含まれておらず、今後はフォローアップを含めたプログラム編成による実施を含めた評価を行い、多くの市町村統括保健師に本プログラムのような研修受講の機会が確保されるよう必要な取り組みを進めていく。

別添

# 資 料

## 1. 募集要項

令和7年度厚生労働省保健指導支援事業

### 市町村統括保健師研修会

～市町村の統括保健師大集合！生き生きと保健活動を続けるために～

#### 1. 目的

2040年を見据えた保健活動を推進するにあたり、市町村統括保健師としての実践力の強化を図るとともに、将来に渡る市町村統括保健師のネットワーク構築を推進する。

#### 2. 目標

##### 〈一般目標〉

市町村の統括保健師として、所属自治体の健康水準の向上に向けて、専門的側面から組織横断的に調整・支援を行い、効果的・効率的な保健活動を推進するための能力を養う。

##### 〈到達目標〉

- 1) 2040年を見据えた保健活動を推進するために、地域保健を取り巻く社会情勢や施策の動向を理解し、統括保健師としての役割・機能が説明できる。
- 2) 所属自治体における健康課題の組織的な解決に向け、統括保健師として取り組むべき方を具体的に説明できる。
- 3) 保健活動の向上のため、統括保健師のネットワークづくりの意義を説明できる。

#### 3. 内容

##### 「市町村統括保健師研修プログラム」

本プログラムは、「事前課題」、集合による研修会（以下「研修会」）、「事後課題」で構成しています。

#### 4. 研修会の日程

2026年1月24日（土）～1月25日（日）（1泊2日）※宿泊必須  
〔1日目：13：00～20：00 2日目：9：00～15：30〕

#### 5. 研修会の会場・宿泊ホテル

「TKPガーデンシティ浜松町」（バイサイドホテル アジュール竹芝）

#### 6. 受講資格（対象者）

以下の1)、2)に全て該当する者

- 1) 市区町村の統括保健師、又は統括的立場にある保健師
- 2) 事前課題・事後課題を含む本研修のすべてのプログラムを受講できる者

## 7. 定員

100名

## 8. 受講申込期間

2025年10月16日（木）～11月14日（金）

## 9. 受講申込方法

受講専用フォーム（URL もしくは QR コード）より申し込みください。

【受講専用フォーム（URL）】

【受講専用フォーム（QR コード）】

## 10. 受講決定

- 1) 受講資格の確認を行い、受講の可否を決定します。

なお、応募多数の場合は、都道府県ごとの申込に偏りがないよう受講者数を調整する場合があります。

- 2) 2025年11月末を目途に「受講決定通知」をメールにてお送りします。

## 11. 事前課題・事後課題について

受講にあたり、以下ご対応ください。

### ●事前課題

内容	提出方法
自己評価シート①事前学習前 ※事前課題に取り組む前に自己評価を行ってください	11月末にお知らせする【フォーム】に入力
基本情報シート	11月末にお知らせする指定のメールアドレスにファイル添付にて提出のうえ、研修会当日受付に写しを提出
【様式1】組織見える化シート	
【様式2】統括保健師 課題焦点化シート ※可能な範囲でご記入ください	<提出不要>研修会当日に使用します ※本様式は3つの統括保健師の役割・機能を深めるために演習で使用予定。
※様式2を参照の上統括保健師の役割・機能のうち本研修会で取り組みたいものを1つ考えておいてください	上記11月末にお知らせする【フォーム】にてご意向を伺います

### ●事後課題

内容	提出方法
【様式3】統括保健師 行動計画シート追記	2026年6月末（メールにて提出）
自己評価シート②研修後	2026年6月末（予定） 後日お知らせするフォームに入力

## 12. 受講証明書

研修会の全日程を受講された方には、「研修会受講証明書」を発行いたします。

## 13. 受講経費

参加費：25,000円（税込）

- 1) 参加費には、ホテル宿泊費（1/24）、飲食費（1/24:夕食、1/25:朝・昼食）が含まれます。
- 2) 「受講決定通知」のメールにて本会指定の振込口座をご連絡いたしますので、期日までにお振込みください。
- 3) 当該参加費の領収書（参加者名宛）を、研修会会場にてお渡しします。
- 4) 参加にかかる旅費、参加費に含まれない費用（ホテル内の冷蔵庫や電話代等）はご自身でご負担ください。

前泊（1/23）や後泊（1/25）が必要な場合は各自手配ください。

## 14. 申込のキャンセル

やむを得ず受講申込を取り消される場合には以下の連絡先にメールでお知らせください。取消しに際し、宿泊先ホテル側のキャンセルポリシーに基づく所定のキャンセル料が発生することをあらかじめご了承ください。

### 1) 連絡先

- ①【2日前まで】●●●
- ②【前日・当日】日本看護協会

### 2) キャンセル料

受講日の60日前（11/25）から発生します。詳細は以下の通りです。

60日前～31日前まで：10%、30日～15日前まで：50%、

14日～2日前まで：80%、前日・当日：100%

なお、返金の場合には手数料を差し引いた額を指定の口座にお振込みいたします。

## 15. 個人情報の取り扱い

取得する個人情報について、個人情報の保護に関する法律を遵守するとともに、以下のとおり個人情報保護方針を定めて遵守します。

<https://www.nurse.or.jp/privacy/index.html>

## 16. その他

本研修会の公開・配信、受講者以外への資料の提供は行いません。

## 2. 本プログラムでを使用したワークシート

### 1) 基本情報シート

令和7年度厚生労働省保健指導支援事業「市町村統括保健師研修」

### 基本情報シート

記入日：令和 年 月 日 参加 ID： \_\_\_\_\_

所 属： \_\_\_\_\_ 氏名： \_\_\_\_\_

#### 1. 概 要

	市町村	データ年次	備考
人口	人	R. .	
世帯数	世帯	R. .	
面積	km <sup>2</sup>	R. .	
高齢者人口	人	R. .	
高齢化率	%	R. .	
産業別就業人口	第1次産業 人 ( %) 第2次産業 人 ( %) 第3次産業 人 ( %)	R. .	
地域包括支援センター	( ) か所 【内訳】直営 ( ) か所 委託 ( ) か所		
学校	小学校 校 中学校 校 高校 校	R. .	
統計	出生数： 人 出生率千対： 合計特殊出生率： 死亡数：	R. .	

#### 2. 市町村の健康課題・特徴等

3. 特に力を入れている保健活動や、よい取り組み等

4. 自分自身が統括的役割を果たす上で取り組んだこと

## 2)【様式1】組織見える化シート

令和8年度厚生労働省保健指導支援事業「市町村統括保健師研修」

【様式1】「組織見える化シート」

記入日： 年 月 日 参加ID： \_\_\_\_\_  
 所属： \_\_\_\_\_ 氏名： \_\_\_\_\_  
(※市町村名も記入)

保健師数(常勤)：〇〇人(〇年〇月)※産休・育休中含む  
 (非常勤)：〇〇人  
 保健師の配置部所数：〇部、〇課、〇係  
 自身が関与している部所数：〇部、〇課、〇係

〇統括保健師の役割について事務分掌への明記の有無： 有 ・ 無  
 (明記されている場合、内容を記入)

公益社団法人 日本看護協会

令和8年度厚生労働省保健指導支援事業「市町村統括保健師研修」

記入例

【様式1】「組織見える化シート」

記入日： 年 月 日 参加ID： \_\_\_\_\_  
 所属： \_\_\_\_\_ 氏名： \_\_\_\_\_  
(※市町村名も記入)

保健師数(常勤)：〇〇人(2025年〇月)※産休・育休中含む  
 (非常勤)：〇〇人  
 保健師の配置部所数：〇部、〇課、〇係  
 自身が関与している部所数：〇部、〇課、〇係

〇統括保健師の役割について事務分掌への明記の有無： 有 ・ 無  
 (明記されている場合、内容を記入)

(※記入例のため省略しています)

公益社団法人 日本看護協会

### 3) 【様式2】 統括保健師 課題焦点化シート

令和8年度厚生労働省保健指導支援事業「市町村統括保健師研修」

【様式2】「統括保健師 課題焦点化シート」

記入日： 年 月 日  
(※市町村名も記入)

参加ID：  
 氏 名：

	統括保健師としての役割・機能		
	保健活動を推進するための組織横断的な総合調整、技術的及び専門的側面からの指導・助言	人材育成に関する組織上の課題を踏まえた、保健師の計画的な人材育成やキャリア形成の推進	健康危機管理に備えた体制整備に向けた保健活動の調整
①統括保健師に期待されていること			
②上記①の実施状況（できていること、できていないことは何かを整理する）	↓	↓	↓
③上記②が起きている原因（なぜできていないのか）を明らかにする	↓	↓	↓
④統括保健師として取り組んでいきたいこと	↓	↓	↓

公益社団法人 日本看護協会

### 4) 【様式3】 統括保健師 行動計画シート

令和8年度厚生労働省保健指導支援事業「市町村統括保健師研修」

【様式3】「統括保健師 行動計画シート」

記入日： 年 月 日  
(※市町村名も記入)

参加ID：  
 氏 名：

課題	目標 (あるべき姿)	行動計画	評価指標	実施した内容と成果 (できたこと)	促進要因

※枚数制限はございません。

公益社団法人 日本看護協会

## 5) SWOT 分析シート

令和 7 年度厚生労働省保健指導支援事業「市町村統括保健師研修」 <b>【SWOT 分析シート】</b>		参加 ID: 氏 名:	
<b>～統括保健師としての現状と課題～</b> 到達目標: 行政組織や保健活動の現状を踏まえ、健康課題を組織的に解決するための統括保健師の役割・機能を理解するため、現状の活動を振り返る			
	<b>プラス要因</b>	<b>マイナス要因</b>	<b>メモ</b>
<b>内部要因</b>	<b>強み</b> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<b>弱み</b> ・ ・ ・ ・ ・ ・	
<b>外部要因</b>	<b>機会</b> ・ 保健師活動指針が改正される ・ 災害対策基本法等の制度が改正される ・ 新興感染症や災害対応などを通じて、統括保健師の役割が国民に周知された ・ ・ ・	<b>脅威</b> ・ 人材不足の中で多様な業務を担うため、精神的・身体的負担が大きい ・ 次期統括保健師の育成が十分でないと将来的に役割継続が困難になる ・ 自治体によっては、統括保健師の認知が進まない ・ 人口の減少により保健師を含む医療・福祉人材の確保が困難となる ・ 他職種（地域づくりへの参画）による保健師の活躍の場の縮小のリスク ・ ・ ・	
			公益社団法人 日本看護協会

### 3. 本プログラムの評価シート

#### 1) 自己評価シート(①事前学習前)

令和7年度 厚生労働省保健指導支援事業「市町村統括保健師研修」

## 自己評価シート ①事前学習前

参加ID: \_\_\_\_\_ 所属: \_\_\_\_\_ 氏名: \_\_\_\_\_ 記入日: \_\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日

1. 以下は、統括保健師が組織的に位置づけられ、その中で役割・機能を発揮するプロセスを構造化して評価項目としています。  
 下位目標1)~16)および統括保健師として担うべき役割:10)-①から14)-②について「どのくらい達成できているか」をお考えいただき、現在の  
 ご自身の状況を6段階で自己評価してください。  
 当てはまる数字に○を付け、その理由についてもご記入ください。

本研修の 目標	下位目標 (本研修で達成すること)	達成状況								
		6段階(当てはまる数字に○をつけて下さい)				○を付けた理由(必ず記入)				
2. 2040年を見据えた保健活動を推進するために、地域保健を取り巻く社会情勢や施策の動向を理解し、統括保健師としての役割・機能が説明できる	1) 統括保健師の役割・機能が理解できる	5	4	3	2	1	0	できない		
	2) 統括保健師の必要性が理解できる	5	4	3	2	1	0	できない		
	3) 統括保健師の組織的な位置づけを理解できる	5	4	3	2	1	0	できない		
	2. 所属自治体における健康課題の組織的な解決に向け、統括保健師として取り組むべき方を具体的に説明できる	4) 統括保健師として自組織で果たさなければならない役割・機能が認識できる	5	4	3	2	1	0	できない	
		5) 統括保健師の役割・機能、位置づけ、自身が果たすべき役割が他者に説明できる	5	4	3	2	1	0	できない	
		6) 統括保健師として、行政組織や保健活動の現状について説明ができる。	5	4	3	2	1	0	できない	
	3. 保健活動の向上のため、統括保健師のネットワークづくりの意義を説明できる	7) 行政組織や保健活動の現状を踏まえ、統括保健師として取り組むべき課題について説明ができる。	5	4	3	2	1	0	できない	
		8) 2040年を見据えた保健活動を推進するための統括保健師の取組みについて考えることができる。	5	4	3	2	1	0	できない	
		9) 統括保健師として、情報共有や活動を推進するためのネットワークづくりの意義が理解できる	5	4	3	2	1	0	できない	
目標	下位目標 (本研修を経て達成すること)	達成状況				○を付けた理由(必ず記入)				
4. 統括保健師としての役割・機能を発揮できる	10) 地域全体の健康課題の明確化や保健活動の優先度を検討する体制を整えることができる	5	4	3	2	1	0	できない		
	10)-①(統括保健師として)保健師全体で自治体の健康課題を共有する機会をつくる	5	4	3	2	1	0	できない		
	10)-②(統括保健師として)保健師全体で保健活動の優先度を検討し、決定する機会をつくる	5	4	3	2	1	0	できない		
	10)-③(統括保健師として)保健師全体で保健活動の目標を検討し、決定する機会をつくる	5	4	3	2	1	0	できない		
	10)-④(統括保健師として)保健師全体で保健活動の評価について共有する機会をつくる	5	4	3	2	1	0	できない		
	11) 「地域全体の健康課題」「保健活動の優先度」を政策・施策化、事業化の決定ルート(ライン上)にのせるための調整を行うことができる	5	4	3	2	1	0	できない		
	11)-①(統括保健師として)組織内上層部や関係部所と健康課題や優先度、活動目標を提案する機会をつくり、理解を得る	5	4	3	2	1	0	できない		
	11)-②(統括保健師として)議員やマスメディア、他機関等の所属組織の外に対して健康課題や優先度、活動目標についてチャンスを逃さずに説明する	5	4	3	2	1	0	できない		
	11)-③(統括保健師として)優先される保健活動の財源や資源の確保に向けて調整する	5	4	3	2	1	0	できない		
	12) 個々の保健師の専門性を育むために、成長に合わせた適材適所への配置、今後経験すべき業務が判断できる(キャリア形成支援)	5	4	3	2	1	0	できない		
	13) 計画的なジョブローテーションを含み、人材育成を推進できる	5	4	3	2	1	0	できない		
	13)-①(統括保健師として)保健師の体系的な人材育成の方針を検討・作成する体制をつくる(既存のものがある場合は見直しを含む)	5	4	3	2	1	0	できない		
	13)-②(統括保健師として)各期にある保健師の現任教育を実施する体制をつくる	5	4	3	2	1	0	できない		
13)-③(統括保健師として)保健師の成長を見据えて、適材適所への配置計画が立案できる	5	4	3	2	1	0	できない			
13)-④(統括保健師として)人材育成の観点から保健師のジョブローテーションを組織に提案し、理解を得る。	5	4	3	2	1	0	できない			

目標	下位目標 (本研究を経て達成すること)	統括保健師として担うべき役割	達成状況	
			6段階(当てはまる数字に○をつけて下さい)	○を付けた理由(必ず記入)
4. 統括保健師としての役割・機能を発揮できる	14) 保健師の計画的な配置や採用に関与できる		5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない	
	14)-①(統括保健師として)保健師の計画的な配置や採用に関する案を根拠に基づき作成する		5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない	
	14)-②(統括保健師として)保健師の計画的な配置や採用に関する案を人事担当所や保健師配属部所に提案し、理解を得る		5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない	
	15)健康危機管理に備え、平時の体制整備に向けた保健活動の調整ができる。		5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない	
5. 組織の中で統括保健師としての位置づけを確保できる	16) 統括保健師として、保健師仲間にも認められている		5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない	
	17) 組織の中で、統括保健師として認められている		5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない	

2. 統括保健師として活動する際のご自身の強み・弱みについて伺います。  
 上手く行うことができていること、苦手なこと、今後強化していきたいことを自由にお書きください。

【引用・参考文献】嶋野洋子、鈴木浩子、真崎直子、市町村統括保健師の役割遂行尺度の開発、日本公衆衛生雑誌 2013;60(5):273-284

## 2) 自己評価シート(②研修後)

令和7年度 厚生労働省保健指導支援事業「市町村統括保健師研修」

### 自己評価シート ②研修後

※「研修会修了後:当日」をご記入ください

参加ID:

市区町村名:

記入日: 年 月 日

1. 以下は、統括保健師が組織的に位置づけられ、その中で役割・機能を発揮するプロセスを構造化して評価項目としています。下位目標1)~17)および統括保健師として担うべき役割:10)-①から14)-②についてどのくらい達成できているかをお考えいただき、現在のご自身の状況を6段階で自己評価してください。当てはまる数字に○を付け、その理由についてもご記入ください。

#### ●研修会修了後:当日

本研修の目標	下位目標 (本研修で達成すること)	達成状況	
		6段階(当てはまる数字に○をつけて下さい)	○を付けた理由(必ず記入)
1. 2040年を見据えた保健活動を推進するために、地域保健を取り巻く社会情勢や施策の動向を理解し、統括保健師としての役割・機能が説明できる	1) 統括保健師の役割・機能が理解できる	5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない	
	2) 統括保健師の必要性が理解できる	5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない	
	3) 統括保健師の組織的な位置づけを理解できる	5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない	
2. 所属自治体における健康課題の組織的な解決に向け、統括保健師として取り組むべき方策を具体的に説明できる	4) 統括保健師として自組織で果たさなければならない役割・機能が認識できる	5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない	
	5) 統括保健師の役割・機能、位置づけ、自身が果たすべき役割が他者に説明できる	5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない	
	6) 統括保健師として、自行政組織や保健活動の現状について説明ができる。	5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない	
3. 保健活動の向上のため、統括保健師のネットワークづくりの意義を説明できる	7) 自行政組織や保健活動の現状を踏まえ、統括保健師として取り組むべき課題について説明ができる。	5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない	
	8) 2040年を見据えた保健活動を推進するための統括保健師の取組みについて考えることができる。	5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない	
	9) 統括保健師として、情報共有や活動を推進するためのネットワークづくりの意義が理解できる	5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない	

#### ●研修会修了後:6月中 ※後日オンラインフォームをお送りします

目標	下位目標 (本研修を経て達成すること)	統括保健師として担うべき役割	達成状況		
			6段階(当てはまる数字に○をつけて下さい)	○を付けた理由(必ず記入)	
4. 統括保健師としての役割・機能を発揮できる	10) 地域全体の健康課題の明確化や保健活動の優先度を検討する体制を整えることができる	10)-①(統括保健師として)保健師全体で自治体の健康課題を共有する機会をつくる	5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない		
		10)-②(統括保健師として)保健師全体で保健活動の優先度を検討し、決定する機会をつくる	5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない		
		10)-③(統括保健師として)保健師全体で保健活動の目標を検討し、決定する機会をつくる	5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない		
		10)-④(統括保健師として)保健師全体で保健活動の評価について共有する機会をつくる	5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない		
	11) 「地域全体の健康課題」「保健活動の優先度」を政策・施策化、事業化の決定ルート(ライン上)にのせるための調整を行なうことができる	11)-①(統括保健師として)組織内上部や関係部所と健康課題や優先度、活動目標を提案する機会をつくり、理解を得る	5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない		
		11)-②(統括保健師として)議員やマスメディア、他機関等の所属組織の外に対して健康課題や優先度、活動目標についてチャンスを逃さずに説明する	5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない		
		11)-③(統括保健師として)優先される保健活動の財源や資源の確保に向けて調整する	5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない		
	12) 個々の保健師の専門性を育むために、成長に合わせた適材適所への配置、今後経験すべき業務が判断できる(キャリア形成支援)			5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない	
	13) 計画的なジョブローテーションを含み、人材育成を推進できる		13)-①(統括保健師として)保健師の体系的な人材育成の方針を検討・作成する体制をつくる(既存のものがある場合は見直しを含む)	5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない	
			13)-②(統括保健師として)各期にある保健師の現任教育を実施する体制をつくる	5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない	
13)-③(統括保健師として)保健師の成長を見据えて、適材適所への配置計画が立案できる			5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない		
13)-④(統括保健師として)人材育成の観点から保健師のジョブローテーションを組織に提案し、理解を得る。			5.できる   4.   3.   2.   1.   0.できない		

目標	下位目標 (本研修を経て達成すること)	統括保健師として担うべき役割	達成状況	
			6段階(当てはまる数字に○をつけて下さい)	○を付けた理由(必ず記入)
4. 統括保健師としての役割・機能を発揮できる	14) 保健師の計画的な配置や採用に関与できる		5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	
	14)-①(統括保健師として)保健師の計画的な配置や採用に関する案を根拠に基づき作成する		5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	
	14)-②(統括保健師として)保健師の計画的な配置や採用に関する案を人事担当部所や保健師配属部所に提案し、理解を得る		5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	
	15)健康危機管理に備え、平時の体制整備に向けた保健活動の調整ができる。		5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	
5. 組織の中で統括保健師としての位置づけを確保できる	16) 統括保健師として、保健師仲間にも認められている		5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	
	17) 組織の中で、統括保健師として認められている		5.できる 4. 3. 2. 1. 0.できない	

●研修会修了後:6月中

2. 事前学習前に記載していただいた「統括保健師として活動する際のご自身の強み・弱み」について、研修会終了後のご自身の活動を踏まえ、どのように変化しましたか。どのくらい克服されたり成長されたか、ご自身の思いも含めて、自由にお書きください。

【引用・参考文献】嶋野洋子、鈴木浩子、真崎直子. 市町村統括保健師の役割遂行尺度の開発. 日本公衆衛生雑誌 2013; 60(5): 273-284

公益社団法人 日本看護協会

### 3) プログラム評価シート

令和7年度厚生労働省保健指導支援事業「市町村統括保健師の実践力強化」

市町村統括保健師研修プログラム評価シート(評価およびご意見伺い)

参加ID: \_\_\_\_\_ 氏名: \_\_\_\_\_ 記入日: \_\_\_\_\_ 年 月 日

#### I. 本プログラムの企画および結果評価について

つぎの1)~4)について、当てはまる番号に○印を付けていただき、回答された理由についてもご記入ください。

##### 1) プログラム全体について

質問	回答欄	
	選択肢	回答の理由
(1) プログラムの期間はいかがでしたか	1. 妥当である 2. 長い 3. 短い	
(2) 集合研修の開催時期はいかがでしたか	1. 妥当である 2. 改善が必要 3. その他	
(3) プログラム構成はいかがでしたか	1. 妥当である 2. 改善が必要 3. その他	
(4) 統括保健師を対象とした人材育成プログラムは必要だと思いますか	1. はい 2. いいえ	

##### 2) 事前学習について

質問	回答欄	
	選択肢	回答の理由
(1) 量はいかがでしたか	1. 妥当である 2. 多い 3. 少ない	
(2) 内容はいかがでしたか	1. 妥当である 2. 改善が必要 3. その他	

##### 3) 研修について

質問	回答欄	
	選択肢	回答の理由
(1) プログラムの時間配分はいかがでしたか	1. 妥当である 2. 改善が必要 3. その他	
(2) プログラムの内容はいかがでしたか(講演, 演習, ディスカッション等)	1. 妥当である 2. 改善が必要 3. その他	

##### 4) 受講者同士の情報交換等について

質問	回答欄	
	選択肢	回答の理由
(1) 本研修会で受講者間の情報交換等を行いましたか	1. はい 2. いいえ	
今後、受講者間で情報交換等を行う場合、どのような方法で情報交換を行うと良いと思いますか	1. メール 2. 電話 3. 学会や研修会等の対面 4. 視察 5. その他	(どのようなことを情報交換すると良いと思いますか)

## II. 本プログラム内容の妥当性・満足度について

以下のプログラム内容について、「統括としての実践に役立てることができそうか」をお考えいただき、以下の選択肢の中から、最もよく当てはまると思う番号に ○ 印を付けてください。

プログラム内容	統括としての実践に役立てることができそうか			
	選択肢			
	とてもそう思う	そう思う	あまり思わない	全く思わない
	4	3	2	1
<b>1)研修会</b>	/			
<b>&lt;1日目&gt;</b>				
(1)【講義】「2040年を見据えた地域保健施策の動向と保健師活動」 (厚生労働省 健康・生活衛生局 健康課 保健指導室長 後藤 友美氏)	4	3	2	1
(2)【講義】「2040年に向けたこれからの保健師活動を牽引する市町村統括保健師の役割・機能と期待」 (日本看護協会 副会長 勝又 浜子氏)	4	3	2	1
(3)【講義】「自治体の組織運営と統括保健師に求められる調整力」 (八王子市 福祉部部長 菅野 匡彦氏)	4	3	2	1
(4)【演習Ⅰ】統括保健師としての現状と課題	4	3	2	1
(5)ディスカッション(ワールドカフェ)	4	3	2	1
<b>&lt;2日目&gt;</b>	/			
(1)【講義】「自治体の政策形成を担う保健師の役割」 (同志社大学 政策学部 総合政策科学研究科 教授 真山 達志氏)				
(2)【講義】「統括保健師による人材育成・人事管理」 (日本看護協会 常任理事 松本 珠実氏)	4	3	2	1
(3)【実践報告】「統括保健師による組織横断的な取組・調整の実際」 (滋賀県守山市 健康福祉部 専門員 小川 靖子氏)	4	3	2	1
(4)【演習Ⅱ】統括保健師として取り組むべき課題の明確化	4	3	2	1
(5)【演習Ⅲ】統括保健師として実践に向けた方策	4	3	2	1

### Ⅲ. プログラム参加に関して

- 研修の実施体制や今後の進め方に役立てるために、研修参加時の状況についてお尋ねします。選択肢の中から該当するものすべてに○印を付けてください。該当する項目がない場合は、「その他」の括弧内に理由をご記入ください。

質問	回答欄
1) 本プログラムを受講した理由	1. 統括保健師としてのスキルアップのため 2. 業務を円滑に行うため 3. ネットワークづくりのため 4. その他( )
2) 本プログラムを受講できた理由	1. 募集案内がタイムリーに届いたため 2. 職場の理解が得られたため 3. 受講できる日程であったため(土日開催) 4. 参加費の確保ができたため 5. 交通の便が良かったため 6. 宿泊が確保されていたため 7. その他( )

- 3) 統括保健師は、どのような環境を整えばこのような研修に参加しやすいと思いますか。

(例:平日開催がよい。予算の確保があるため、周知は早め(1年前)にしてほしい。等)

- 本プログラムの参加にかかる経費についてお尋ねします。

選択肢の中から該当するものに○印をつけてください。該当する項目がない場合は、「その他」に○印をつけ、括弧内にご記入ください。

1) 本プログラムの参加にかかる費用(旅費等)	1. すべて公費である 2. 一部公費である 3. すべて自費である 4. 一部自費である 5. その他( )
-------------------------	---

- 2) 上記、1)で「1. すべて公費」「2. 一部公費」とご回答の方にお尋ねします。

費用負担していただいた組織(出处)について教えてください

( )

- 研修会後のフォローアップのため来年度以降もご連絡をさせていただく予定です。今後、事務局からのご連絡をご承諾いただけますでしょうか。

該当する箇所に☑を入れてください。ご承諾いただけない場合は、その理由を教えてください。

諾

非(理由: )

- 日本看護協会へのご意見・ご要望がございましたら自由にお書きください

ご協力いただきありがとうございました。日本看護協会健康政策部保健師課

## 4. プログラムの実施状況

研修会

前方をスクール、後方をグループワーク形式にしました



演習の様子



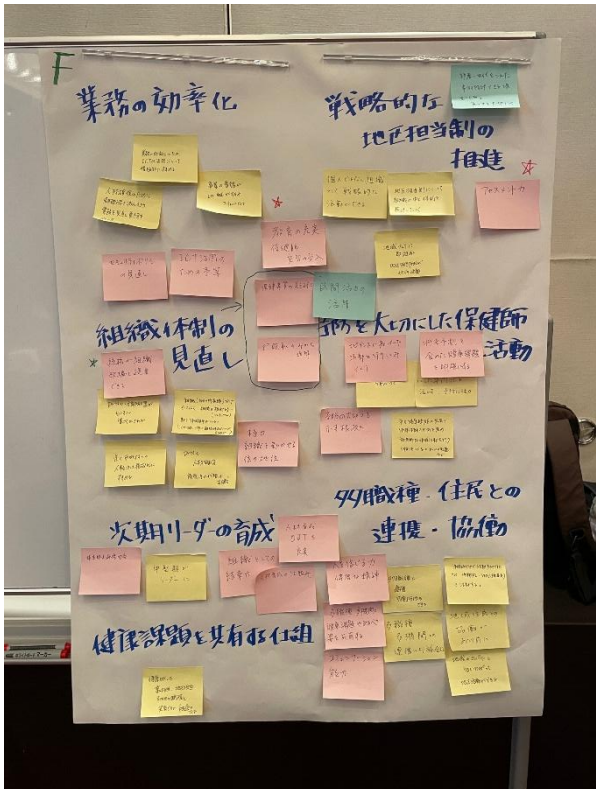
ワールドカフェの様子



複数のグループより発表していただき、全体で共有しました



各グループの成果物 一例





## 市町村統括保健師研修会

～市町村の統括保健師大集合！生き活きと保健活動を続けるために～



※写真の掲載については許諾を得ている

